C122-A013-02



FUJITSU Server PRIMEQUEST 1000 シリーズ

かんたん構築ガイド (VMware 編)

富士通株式会社

はじめに

本書は、PRIMEQUEST 1000 シリーズの構築と導入を支援するガイドです。

VMware およびゲスト OS のインストールと、仮想環境利用開始までの基本的な手順について説明しています。

システム構成

本書では、以下のシステム構成で構築した場合について記載しています。

仮想マシンを複製することで、同じ仮想マシン構成を簡単に作成できます。



図 本書で説明するシステム構成

項目		構成内容
本体モデル		PRIMEQUEST 1800E2
クラスタ		なし (シングル構成)
OS ブート (ホスト、ゲスト)		内蔵ディスク
メモリミラー		あり
パーティション構成 (ホスト)	ハイパー バイザ	VMware® vSphere TM ESXi 5.1
	SB	1 校 (1SB あたり、CPU: 10 コア(2.40GHz/30MB)×2 個、 メモリ: 16GB(8GB(2GB DIMM×4)×2 セット))
	IO ユニット	1 セットの半分
	SAS アレイ ディスクユ ニット	HDD(146GB)×2台 RAID レベル 1
パーティション構成	OS	Windows Server® 2008 R2 SP1 Standard (64-bit)
(vCenter Server)	SB	1枚 (1SB あたり、CPU: 10 コア(2.40GHz/30MB)×2 個、 メモリ: 16GB(8GB(2GB DIMM×4)×2 セット))
	IO ユニット	1 セットの半分
	SASアレイ ディスクユ ニット	HDD(146GB)×2 台 RAID レベル 1
仮想マシン構成	ゲスト OS	Red Hat® Enterprise Linux® 6.3 (for Intel64)×2
(RHEL 6)	仮想 CPU	各仮想マシンに 1vCPU ずつ
	仮想メモリ	各仮想マシンに 2048MBずつ
	仮想ストレ ージ	各仮想マシンに 25GB ずつ
仮想マシン構成	ゲストOS	Windows Server® 2008 R2 SP1 Standard (64-bit) ×1
(Windows Server	仮想 CPU	1vCPU
2008)	仮想メモリ	4096MB
	仮想ストレ ージ	40GB

略称

本書では、製品名を以下のように表記しています。

製品名	略称		
PRIMEQUEST 1400S2			
PRIMEQUEST 1400S2 Lite			
PRIMEQUEST 1400E2	PRIMEQUEST 1000 シリ	PRIMEQUEST 1000 シリーズ、	
PRIMEQUEST 1400L2	または PRIMEQUEST		
PRIMEQUEST 1800E2			
PRIMEQUEST 1800L2			
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for Intel64)	DUFICO DUFIC	Linux DUFI	
Red Hat® Enterprise Linux® 6 (for x86)	ΛΠΕLΟ.3, ΛΠΕLΟ	LINUX, KILL	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 SP1	Windows Server 2008		
Windows® 7 Professional	Windows 7	windows	
VMware® vSphere® 5.1	VMware vSphere		
VMware® ESXi TM 5.1	ESXi		
VMware® vCenter Server TM 5.1	vCenter Server VMware Web Client VMware		
VMware® vSphere® Web Client			
VMware® vSphere® Client	vSphere Client		
VMware® vSphere® CLI	vSphere CLI		
ServerView Suite ServerView	CVIM		
Installation Manager			
ServerView Mission Critical Option for VM	SVmcovm		
ServerView Operations Manager	SVOM		
富士通 Linux サポートパッケージ	FJ-LSP		

関連ドキュメント

システム構築を行う際に必要に応じて参照してください。

名称	略称
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 製品概説	製品概説
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 導入マニュアル	導入マニュアル
PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス	運用管理ツールリファレンス
VMware vSphere 5.1 ソフトウェア説明書(PRIMEQUEST)	ソフトウェア説明書
VMware vSphere 5 におけるサーバ監視の留意事項	
VMware vSphere ESXi および vCenter Server 5.1 のドキ	WM wano HD ZU
ュメント (*1)	VMware社のマニュアル
ServerView Suite ServerView Installation Manager	
PRIMEQUEST1000 シリーズ ServerView Mission Critical	SVmao 7- #Z= ZZU
Option ユーザマニュアル	Svinco - y v y h
ServerView ESXi CIM Provider VMware vSphere 5	
インストールガイド	
ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5	
インストールガイド	
PRIMEQUEST 1000 シリーズ Linux ユーザーズマニュアル	Linn フーザーブフー アル
Red Hat Enterprise Linux 6 編	

(*1) VMware社のサイト (<u>http://www.vmware.com/</u>) から参照できます。

コマンド入力

本文中では、コマンド入力を以下のように表現しています。

▶ ユーザー可変(ユーザーの環境により異なる)の文字列

以下のように斜体で表記します。

/sbin/e2label <device> <label>

▶ 追加/変更対象文字列

以下のように、太文字で表記します。

NETWORKING=yes HOSTNAME=xxxx : VLAN=yes

商標

- VMwareは、VMware, Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hatは、米国およびそのほかの国において登録されたRed Hat, Inc.の商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における 登録商標です。
- その他、会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。

目次

はじめに	
1 導入前	の準備
1.1 物理	星 マシンの設定
1.2 メラ	ディアの準備
1.2.1	メディアの種類
1.2.2	vSphere CLIのインストールファイルの準備
1.2.3	RHELディストリビューションDVDイメージの準備9
1.2.4	FJ-LSP CDイメージの準備(富士通SupportDeskサービス契約者のみ)9
2 物理マ	シンのインストールと設定11
2.1 ホン	スト (ESXi) のインストール11
2.1.1	SVIMを使用したインストール11
2.2 管理	星クライアントPCのインストール20
2.2.1	事前準備
2.2.2	vSphere Client $\mathcal{O} \not\leftarrow \mathcal{V} \not\leftarrow \mathcal{V}$
2.2.3	vSphere CLIのインストール
2.3 管理	里サーバのインストール
2.3.1	事前準備
2.3.2	vCenter Server $\mathcal{O} \not\prec \lor \neg \lor \neg \lor \neg \lor \neg \lor $
2.3.3	Web Client $\mathcal{O} \not\prec \lor \neg \lor \neg \lor$
2.4 イン	イストール後の設定と確認44
2.4.1	クライアント統合プラグインのインストール44
2.4.2	ネットワーク設定
2.4.3	ソフトウェアのアップデート68
2.4.4	ServerView ESXi CIM Providerの確認
2.4.5	管理情報・構成情報の保存69
2.4.6	セキュリティの設定69
3 仮想マ	シンの構成
3.1 仮想	見マシンの作成
3.1.1	データセンターの作成とホストの追加70
3.1.2	仮想マシンの作成
3.2 ゲス	ストOSのインストール
3.2.1	インストールメディアの準備81
3.2.2	Windows Server 2008 $Od > 3 - b - b$

<u>、</u> ール	.2.3	ŝ
ーノレ	管理	3.3
Managerのインストール	.3.1	9
. トール	.3.2	5
ーパレ	.3.3	S
	仮想	3.4
	履歴	改版
	条件	使用

1 導入前の準備

PRIMEQUEST 1000 シリーズで仮想環境を構築する前に必要な作業について説明します。

1.1 物理マシンの設定

『導入マニュアル』の1~3章に従い、物理マシンを準備します。

主な作業と参照先を以下に示します。

項目	作業	参照先
MMB への接続と設定	ネットワーク設定 など	『導入マニュアル』の 「3.3 MMB への接続と設定」
パーティションの設定	パーティションの構成作成 など	『導入マニュアル』の 「3.4 パーティションの設定」
構成情報の保存	MMB 構成情報の保存	『導入マニュアル』の 「3.5 構成情報の保存」
Boot Watchdog の解除	MMB Web-UI の [ASR Control] メニューで Boot Watchdog を解 除	『運用管理マニュアル』の 「9.4.1 パーティションの自動再 起動条件の設定」
CPU 設定の確認・変更	UEFI の [Device Manager] – [Configure CPU] メニューで設 定の確認・変更	以下の記事および『運用管理ツー ルリファレンス』を参照

● CPU設定の確認・変更について

UEFIの [Device Manager] - [Configure CPU] メニューで、以下の確認、設定を行ってください。 UEFIの設定方法は、『運用管理ツールリファレンス』を参照してください。

▶ VMwareの使用には、Intel VT 機能([Virtualization Technology (VT-x)])が有効になっている必要があります(デフォルトは有効)。

無効に設定されている場合は、必ず有効にしてください。

- ▶ PRIMEQUEST 1800E2/1800L2 の場合、 [x2APIC Mode] を有効に変更してください (デフ オルトは無効)。
- ▶ 正確な CPU 使用率の把握が必要な場合は、ハイパースレッディング・テクノロジー機能 ([Hyper Threading])を無効にしてください(デフォルトは有効)。
- ▶ 省電力よりも性能を重視する場合には、以下の CPU 省電力機能を無効にしてください(デフ オルトは有効)。
 - Enhanced Speed Step
 - Enhanced Idle Power State
 - ACPI C3 State

1.2 メディアの準備

1.2.1 メディアの種類

インストールに必要な以下のメディアを用意し、必要に応じて CD または DVD を作成します。

メディア	用途	入手方法
ServerView Suite DVD	 ・ホスト(ESXi)のインス トール ・管理サーバのOSインスト ール 	本体に添付
ESXi のインストール イメージ	ホスト(ESXi)のインスト ール	『ソフトウェア説明書』を参照し、ダ ウンロードしてください。
vCenter Server の インストールイメージ	 ・vSphere Client のインスト ール(管理クライアント PC上) ・vCenter Server のインスト ール(管理サーバ上) ・Web Client のインストー ル(管理サーバ上) 	以下の VMware 社ダウンロードサイ トより入手してください。 <u>http://downloads.vmware.com/d/</u> (英語版) <u>http://downloads.vmware.com/jp/d/</u> (日本語版)
vSphere CLI のインス トールファイル	vSphere CLI インストール (管理クライアント PC 上)	「 <u>1.2.2vSphere CLIのインストール</u> <u>ファイルの準備</u> 」を参照してくださ い。
Windows Server 2008 R2 のインストールイメージ	 ・管理サーバの OS インスト ール ・ゲスト OS のインストール 	本体に添付 (イネーブルキットを手配 した場合)
RHEL のディストリビュ ーション DVD	ゲスト OS のインストール	「 <u>1.2.3_RHELディストリビューショ</u> <u>ンDVDイメージの準備</u> 」を参照してく ださい。
FJ-LSP CD イメージ (SupportDesk サービス を契約されている場合) kernel-debuginfo CD イメージ	RHEL の添付ソフトや追加 パッケージインストール	「 <u>1.2.4</u> FJ-LSP CDイメージの準備 <u>(富士通SupportDeskサービス契約</u> <u>者のみ)</u> 」を参照してください。
ServerView RAID Manager のインストール ファイル SVmcovm のインストー ルファイル SVOM のインストールフ ァイル	各監視ツールのインストー ル(1 つのゲスト OS 上)	<u>http://jp.fujitsu.com/platform/server/</u> <u>primequest/download/1000/</u> よりダウ ンロードしてください。

1.2.2 vSphere CLIのインストールファイルの準備

vSphere CLI は、「VMware vSphere SDK for Perl 5.1」に含まれています。 以下の手順でダウンロードしてください。

- 以下のサイトにアクセスし、[Drivers & Tools]タブを選択します。
 https://my.vmware.com/web/vmware/info/slug/datacenter_cloud_infrastructure/vmware_vsp
 https://my.vmware.com/web/vmware/info/slug/datacenter_cloud_infrastructure/vmware_vsp
- [Automation Tools and SDKs]から、使用するバージョンの[VMware vSphere SDK for Perl 5.1]を ダウンロードします。

1.2.3 RHELディストリビューションDVDイメージの準備

他のシステム上で、Red Hatのカスタマーポータル (<u>https://access.redhat.com</u>) からディストリビ ューションDVDのISOイメージファイルをダウンロードします。

注意

- ▶ ダウンロードには、Red Hat Network (RHN) へのサブスクリプション登録が必要です。
- ▶ ディストリビューション DVD のイメージファイルは、マイナーリリースおよびアーキテクチャー(for x86/for Intel64)ごとに異なります。目的の DVD イメージファイルをダウンロードしてください。

1.2.4 FJ-LSP CDイメージの準備(富士通SupportDeskサービス 契約者のみ)

以下を参照し、FJ-LSP CD イメージと kernel-debuginfo CD イメージを準備してください。

■ FJ-LSP CD イメージのダウンロード

他のシステム上で、富士通SupportDesk UpdateSite Webサイト

(<u>https://eservice.fujitsu.com/updatesite/</u>) から、FJ-LSP CDのISOイメージファイルをダウンロードします。

注意

- ▶ ダウンロードには富士通との SupportDesk 契約が必要です。
- ▶ FJ-LSP CD のイメージファイルは、マイナーリリースおよびアーキテクチャー(for x86/for Intel64)ごとに異なります。目的の DVD イメージファイルをダウンロードしてください。

■ kernel-debuginfo CD イメージの作成

FJ-LSP イメージのダウンロードページから以下の2種類のパッケージをダウンロードし、ISO イ メージファイルを作成します。

- ▶ kernel-debuginfo-common-<アーキテクチャー>-<バージョン>.el6.<アーキテクチャー
 >.rpm
- ▶ kernel-debuginfo-<バージョン>.el6.<アーキテクチャー>.rpm

注意

- ▶ ダウンロードには、Red Hat Network (RHN) へのサブスクリプション登録が必要です。
- ▶ パッケージファイルは、マイナーリリースおよびアーキテクチャー(for x86/for Intel64)ごと に異なります。目的の DVD イメージファイルをダウンロードしてください。

2 物理マシンのインストールと設定

2.1 ホスト (ESXi) のインストール

2.1.1 SVIMを使用したインストール

ESXi を PRIMEQUEST のパーティションにインストールします。 本書では、VMware ESXi 5.1 を ServerView Installation Manager 11.12.11 のガイドモードを使 用してインストールしています。

- 1. リモートストレージを接続する PC に、「ServerView Suite DVD1」をセットします。
- 2. パーティションをリモートストレージからブートする準備をします。

1. MMB Web-UI からビデオリダイレクションを起動します。

MMB Web-UI の詳細については、『運用管理ツールリファレンス』を参照してください。

注意 ====

ビデオリダイレクションを使用するには、コンソール用 PC のブラウザで Java が 利用できる環境を整える必要があります。

- 2. [リモートストレージ]→[リモートストレージ…]で、「ServerView Suite DVD1」をセットしたドライ ブを追加します。
- 3. DVD ドライブの[接続]を選択し、[OK]をクリックします。
- 3. MMB Web-UI からパーティションの電源を投入します。

4. [Windows Boot Manager]画面で、[ServerView Installation Manager (winPE64)]を選択し、 [Enter]キーを押します。



⊠ 2-1 Windows Boot Manager

5. 言語選択画面で[Japanese]をクリックします。

2	Language Selection	x
S ServerView		FUĴĨTSU
English	Start the Installation Manager using the English user interface	
Deutsch	Starten Sie den Installation Manager mit der Deutschen Benutzeroberfläche	
Français	Démarrez l'Installation Manager avec le surface utilisateur français	
Japanese	日本語のユーザインターフェースを使用して Installation Manager を起動します	

図 2-2 言語選択

6. 初期画面では何も設定せずに[次へ]をクリックします。

7. [ようこそ ServerView Installation Manager へ] 画面で、 [Deployment]をクリックします。



図 2-3 ようこそ ServerView Installation Manager へ

 [Installation Manager Deployment Process Selection]画面で、[ガイドモード]を選択し、 [次へ]をクリックします。



☑ 2-4 Installation Manager Deployment Process Selection

- 9. [オペレーティングシステムの選択]画面で、OSを選択します。
 - 1. 既存の構成を利用しない場合は、[新規にコンフィグレーションファイルを作成する。]を選択します。
 - 2. OS の種別に[Hypervisor]、ディストリビューションに[VMware ESX]を選択し、使用するバー ジョンとマイナー番号を選択します。

3. [サーバ管理の設定を行う]のチェックを外します。

4. [次へ]をクリックします。

オペレーティングシステムの選択			
コンフィグレーションファイル ③ 新規にコンフィグレーションファイルを作成する。 ○ 既存のコンフィグレーションファイルは基づいてインストールを行う。	コンフィグレーションファイルの内容		
OSの選択			
Hypervisor 🗸			
VMware ESX			
VMware ESXi 5.1			
Update 0			
(*): サポートしていません。 (**): サポート予定ですが、このバージョンではまだ対応されていません。 VMware ESX 4xはサポートしていません			
Server Management Configuration サーバ管理の設定を行う			
		戻る 次へ	キャンセル

図 2-5 オペレーティングシステムの選択

10. [RAID とディスクの構成]画面で、[次へ]をクリックします。

 Configuration RAIDとディスクの構成 RAIDとディスクの構成 Whyare ESX (4) アブリケーション (1) 診ち内容の確認 (1) 	Mware ESX ND とディスクの構成 N-ドディスクムにある既存の区画は全て削除されます。	
	- アレイ コントローラ: ^{自動} ⊕- 物理ディスク	ディスクの追加
	 B·ディスク1 lsi 空き領域 (MB): 138974 パ^k-ディジョン1 datastore1 auto vmfs5 prim. 	パーティウルシの方面加 ディスクの消除剤 育び 業
		戻る 次へ キャンセル

図 2-6 RAID とディスクの構成

- 11. [基本設定]画面で、VMware ESX の基本設定をします。
 - 1. [基本情報]の[キーボード]で[Japanese]を選択します。
 - 2. [パスワード]に root パスワードを入力します。
 - 3. [次へ]をクリックします。

 Configuration RADとディスクの構成(1) Where ESX 基本設定 ネットワーク ライセンス Post-installation アプリグーション(1) Post-installation 	VMware ESX 基本設定 基本情報: キーボード: Japanese
	パスワード: root/(スワード: ●●●●●●●●
	インストール設定: インストールメディア: CD-ROM ▼ インストール後、自動Mにシステムを再起動 ▼
	(グレーアウトの項目は固定のデフォルト設定が反映されます。)
	戻る 次へ キャンセル

図 2-7 基本設定

12. [ネットワーク]画面で、以下の設定をします。

- 1. [VM の標準ネットワークでセットアップする]にチェックが入っていることを確認します。
- 2. [DNS からホスト名を取得]のチェックを外します。
- 3. [ホスト名]欄に ESXi のホスト名を入力します。
- 4. [DHCP で全てのネットワークデバイスを設定]のチェックが外れていることを確認します。
- 「ネットワークデバイス」を選択し、「ネットワークタイプ」を選択します。
 [固定 IP]を選択した場合は、[IP アドレス]、「ネットマスク]、「ゲートウェイ]、「ネームサーバ]に、 それぞれ使用するアドレスを入力します。

6. [次へ]をクリックします。

 ※ Configuration ⊕ RAIDとディスクの構成(1) ⊖ Whware ESX → 基本教徒 → キットワーク → ライワン-> >>>> >>>>>>>>> >>>>>>>>>>>> >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	VMware ESX ネットワーク (規理する VLAN ID: 0 DNSかられスト名を取得 ホスト名: [est DHCPで全てのネットワークデドイスを撤定 ネットワークデバイスとMACアドレスを推定 キットワークディイスとMACアドレスを推定 キットワークライブ: [回定IP (アドレス: [ホットマスク: [ゲートウェイ: [ホームサーバ: [パグレーアウトの項目は固定のデフォルト設定が反映されます。)
	戻る 次へ キャンセル

図 2-8 ネットワーク

- 13. [VMware Licence Options] 画面で、[使用許諾契約書の条項に同意します]をチェックし、[次へ]を クリックします。
- 14. [Post Installation Script]画面で、デフォルト値のまま[次へ]をクリックします。
- 15. [アプリケーションウィザード]画面で、[次へ]をクリックします。

16. [設定内容の確認]画面で、設定内容を確認し、[インストール開始]をクリックします。

自動インストールが開始されます。

 € Configuration ⊕ - RAIDとディスクの構成(1) ⊕ - VMware ESX (4) ⊕ - アフリケーション (1) ⊕ 設定内容の確認 ← インストール情報 	VMware ESX 設定内容の確認				
	コントローフ: ドライブ名:	RAID: *	バーティションサイス: 容量:	512	
	OSの設定 タイナ: インストールメディア: タイムゾーン: コンピュータ名: DHCP デフォルト ゲートウェイ: コンフィグレーションフィ Note このコンフィグレー・	cdrom - vmware01 false > イル名 ションファイルはワークコ	IPアドレス: サブネット マスク: serstartbatch.xml ファーイルとして使用され、上書きされます。	255.255.255.0	
				戻る 1乗1子 インストール開	暗 キャンセル

図 2-9 設定内容の確認

- **17**. [ネットワークドライブの指定]画面が表示されたら、以下の手順で ESXi のメディアに接続します。 ESXi のインストールが開始されます。
 - 1. ビデオリダイレクションの[リモートストレージ]で DVD ドライブを切断します。
 - 2. ESXi のメディアをドライブに追加し、接続します。

- ネットワークドライブの指定 × FUĴÎTSU ServerView DVDドライブに ESXi 5.1オペレーティングシステムメディアを挿入してください。 ・ ローカルドライブからインストールする ○ ネットワークドライブからインストールする ネットワークパス: 例: \\myserver\myshare ユーザ名: Γ 例: [mydomain\]myuser パスワード: Г キャンセル OK
- 3. [ローカルドライブからインストールする]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

図 2-10 ネットワークドライブの指定

18. 以下の画面が表示されたら、ビデオリダイレクションの[リモートストレージ]で DVD ドライブを切断して から、[OK]をクリックします。

ServerStartCWnd	×
システムが再起動します。 全てのメディアを取り出して下さい。 (フロッピーディスク、CD/DVD、USBメモリ、…)	
ОК	

図 2-11 メディアの取出し

PRIMEQUEST 1000 シリーズ かんたん構築ガイド(VMware 編)

#起動後、ESXi の構築が完了すると、初期画面が表示されます。

VMeare ESXi 5.1.0 (WMearel Release Build 830463)
EUIISU-SV FDIREQUEST 100F2
Control (CPU F7- 0870 0 2.4067b
)

Cont

2.2 管理クライアントPCのインストール

管理クライアント PC に、VMware の管理ソフトをインストールします。

2.2.1 事前準備

以下の条件を満たした PC を事前に準備してください。

▶ ハードウェア条件

ハードウェア	条件
CPU	2.0GHz 以上、4 コア以上
メモリ	2GB以上
ハードディスク	3.5GB 以上の空き容量(%temp% ディレクトリがあるドライブに
	400MB の空き容量が必要)
	※Microsoft .NET 3.5 SP1 および Microsoft Visual J#がインストール
	済みの場合は、vSphere Client には 450MB の空き容量、
	%temp% ディレクトリがあるドライブに 300MB の空き容量が必要。
ネットワーク	ギガビット接続を推奨

▶ ソフトウェア条件

ソフトウェア	条件
OS	本ガイドでは Windows 7 を使用しています。
	サポートされている最新のオペレーティング システムの一覧について
	は、(<u>http://www.vmware.com/resources/compatibility</u>)を参照して
	ください。
アプリケーション	JRE、Flash Player、およびブラウザがインストールされていること。
	サポートしているアプリケーションの情報については、VMware 社の
	マニュアルを参照してください。

2.2.2 vSphere Clientのインストール

VMware 環境を管理クライアント PC から管理、設定するために vSphere Client をインストールします。

- 1. vCenter Server のインストールメディアを、管理クライアント PC にセットします。
- 2. 表示された画面左側で[vSphere Client]を選択し、画面右下の[インストール]をクリックします。 インストーラが自動で起動されない場合は、DVD 内の「autorun.exe」ファイルを起動します。



図 2-13 VMware vCenter インストーラ

- 3. [ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。
- 4. 以下の画面で[日本語]を選択し、[OK]をクリックします。



5. 以下の画面で[次へ]をクリックします。

방 VMware vSphere Client 5.1	
vmware	VMware vSphere Client 5.1 のインスト ール ウィ ザードへようこそ
	インストール ウィザードでは、コンピュータに VMware vSphere Client 5.1 をインストールします。 続行するには、「次へ」をクリックし てください。
VMware vSphere∘ Client [™]	警告:このプログラムは著作権法および国際協定により保護され ています。
次へ M > キャンセル	

図 2-15 インストールウィザード初期画面

- 6. [エンドユーザー許諾契約]画面で内容を確認し、[次へ]をクリックします。
- 7. [使用許諾契約書]画面で[使用許諾契約書に同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。

B VMware vSphere Client 5.1	×
使用許諾契約書 次の使用許諾契約書をよくお読みください。	
VMWARE エンド ユーザー使用許諾契約書 本エンド ユーザー使用許諾契約書の条項は、本ソフトウ ンストールの際に表示されるいかなる条件にかかわらず、	ェアのイ お客様の
ソフトウェアの使用について適用されます。 重要事項ですのでよくお読みください:本ソフトウェアの ロード、インストール、または使用によって、お客様 (f は法人組織) は本エンド ユーザー使用許諾契約書 (以))ダウン 固人また 下、「本 →
 ● 使用許諾契約書に同意します (A) ● 使用許諾契約書に同意しません (D) 	
InstallShield 〈戻る (B) 〉 次へ (N) >	キャンセル

図 2-16 使用許諾契約書

8. [ターゲットフォルダ]画面でインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックしてインストール先を指定してください。

岁 VMware vSphere Client 5.1	X
ターゲット フォルダ	
製品をインストールするフォルダを選択してください。	
vSphere Client インストール先:	
C:¥Program Files¥VMware¥Infrastructure¥	変更 (C)
InstallShield	
< 戻る (B) 汰へ (N) >	キャンセル

図 2-17 ターゲットフォルダ

- 9. [プログラムのインストール準備]画面で、[インストール]をクリックします。 インストールが開始されます。
- 10. インストールが完了したら、以下の画面で[終了]をクリックします。



図 2-18 インストール完了

- 11. 手順2の VMware vCenter インストーラ画面で、[終了]をクリックします。
- 12. vCenter Server のインストールメディアを取り出します。
- 次に、「2.2.3 vSphere CLIのインストール」を実行してください。

2.2.3 vSphere CLIのインストール

vSphere CLI のインストールを行います。

- 1. 管理クライアント PC に、vSphere CLI のインストールファイルを格納したメディアをセットします。
- 2. 「VMware-vSphere-Perl-SDK-5.1.x- <数字>.exe」を実行します。
- 3. [ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。
- 4. インストールウィザードの初期画面で、[Next]をクリックします。



図 2-19 インストールウィザード初期画面

5. [License Agreement]画面で、[I accept the terms in the license agreement]を選択し、[Next]をク リックします。

₩ VMware vSphere CLI		
License Agreement		
Please read the following license agreement carefully.		
VMware® Software Development Kit (SDK) License Agreement		
VMware, Inc. ("VMware") provides the vSphere Command Line		
Interface (vSphere CLI) and/or the vSphere Software Development Kit for Perl (vSphere SDK for Perl) (collectively the "Software") to		
you subject to the following terms and conditions. By downloading,		
installing, or using the Software, you (the individual or legal entity)		
"Agreement"). If you disagree with any of the following terms, then		
do not use the Software.		
I accept the terms in the license agreement:		
\bigcirc I $\underline{d}o$ not accept the terms in the license agreement		
< Back Next > Cancel		

⊠ 2-20 License Agreement

6. [Destination Folder]画面で、インストール先を確認し、[Next]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[Change...]をクリックしてインストール先を指定してく ださい。

😸 VMware	e vSphere CLI
Destinat Click Ne	ion Folder xt to install to this folder, or click Change to install to a different folder.
	Install VMware vSphere CLI components to: C:¥Program Files¥VMware¥VMware vSphere CLI¥ Change
	< <u>B</u> ack Next > Cancel

🗵 2-21 Destination Folder

- 7. [Ready to Install the VMware vSphere CLI components]画面で、[Install]をクリックします。
- 8. インストールが完了したら、[Installation Wizard Completed]画面で、[Finish]をクリックします。

B VMware vSphere CLI	×
	Installation Wizard Completed The installation wizard has successfully installed VMware
	vSphere CLI and vSphere SDK for Perl. Click Finish to exit the wizard.
^{VMware vSphere"} Command-Line Interface	
	< <u>B</u> ack <u>Finish</u> <u>C</u> ancel

 \boxtimes 2-22 Installation Wizard Completed

9. インストールファイルを格納したメディアを取り出します。

2.3 管理サーバのインストール

2.3.1 事前準備

■ インストール環境の確認

管理サーバとして使用する物理パーティションが、以下の要件を満たしていることを確認してくだ さい。

▶ ハードウェア条件

ハードウェア	条件
CPU	64bit、2.0GHz 以上、2 コア以上
メモリ	10GB
ハードディスク	100GB 以上の空き容量を推奨 (vCenter Server インストール後に 40~60GB 以上が必要)

▶ ソフトウェア条件

ソフトウェア	条件
OS	本ガイドでは Windows Server 2008 R2 SP1 Standard を使用してい
	ます。
	・サポートされている最新のオペレーティング システムの一覧につ
	いては、 <u>http://www.vmware.com/resources/compatibility</u> にある
	『VMware 互換性ガイド』を参照してください。
	・OS インストール後、以下の設定が必要です。
	ーファイアーウォールの無効化
	ーネットワーク接続
	-NTP サーバ設定
アプリケーション	JRE、Flash Player がインストールされていること。
データベース	本ガイドでは Microsoft SQL Server 2008 R2 を使用しています。
	サポートされている最新のデータベースソフトについては、VMware
	社のマニュアルを参照してください。

■ データベース構成

Microsoft SQL Server を使用する場合のデータベース構成について説明します。

データベース構成についての詳細は、VMware 社のマニュアルを参照してください。

1. Microsoft SQL Server 2008 をインストールします。

インスタンス名はデフォルトの「MSSQLSERVER」以外で作成してください。

- 2. vCenter Server のインストールメディア内にあるスクリプトを加工し、SQL Server Management Studio で実行します。
 - *<CD/DVD-ROM* ドライブ>¥Single Sign On

¥DBScripts¥SSOServer¥schema¥mssql にある以下のスクリプトを実行してください。

その際ファイル内に記載されているファイル格納先とパスワードは実際使用するも

のに変更し、任意の場所に保存しておいてください。

- $\cdot \ rsaIMSLiteMSSQLSetupTablespaces.sql$
- $\cdot {\it rsaIMSLiteSetupUsers.sql}$
- *<CD/DVD-ROM* ドライブ>¥vCenter-Server¥dbschema

¥DB_and_schema_creation_scripts_MSSQL.txtの拡張子を「.sql」に変更し、任意 の場所に保存してからスクリプトとして実行してください。 その際ファイル格納先と mdf ファイルの初期サイズ、パスワードを設定し、次に示 す行はコメントアウトしてください。

- ・1 行目から 22 行目
- ・63行目から68行目
- ・112 行目から 117 行目
- 147行目から最終行
- 3. [スタート]→[管理ツール]→[データソース(ODBC)]を起動し、[システム DNS]タブでデータソースの 追加を行います。
- 4. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft SQL Server 2008 R2]→[構成ツール]→[SQL Server 構成マネージャー]を選択し、TCP/IP の設定(ポート番号設定、有効化など)を行ってください。

設定完了後は、[SQL Server のサービス]を再起動してください。

2.3.2 vCenter Serverのインストール

VMware 環境の管理サーバを構築するため、PRIMEQUEST のパーティション(管理サーバ用)に vCenter Server をインストールします。

- 1. 管理サーバ用のパーティションが起動していない場合は、起動します。
- 2. リモートストレージを接続する PC に、vCenter Server のインストールメディアをセットします。
- 3. ビデオリダイレクションの[リモートストレージ]→[リモートストレージ…]で、vCenter Server のインスト ールメディアをセットしたドライブを接続します。

注意 =

ビデオリダイレクションを使用するには、コンソール用 PC のブラウザで Java が 利用できる環境を整える必要があります。

- 4. DVDドライブの[接続]を選択し、[OK]をクリックします。
- 5. インストーラ画面で[VMware® vCenter[™] Simple Install]を選択し、画面右下の[インストール]をクリ ックします。

インストーラが自動で起動されない場合は、DVD 内の autorun.exe ファイルを起動します。

Vocenter Server をインストールするために必要な情報は、次を参照してください。 http://www.vmware.com/installation VMware® VCenter™ Simple Install VMware@ VCenter™ Simple Install VCenter™ Single Sign On VMware@ VCenter™ Inventory Service VMware@ VCenter™ Server VMware@ VCenter™ Server VMware@ VCenter™ Server VMware@ VCenter™ Server VMware Vsphere@ Client VMware vSphere@ Update Manager™ Vcenter サオート ツール VMware vSphere@ ESXI™ Dump Collector VMware vSphere@ Auto Deploy VMware vSphere@ Nub Client VMware vSphere@ Auto Deploy VMware vSphere@ Auto Deploy VMware vSphere@ Mutentication Proxy 2 - テイリテイ VMware vSphere@ Nub Client VMware vSphere@ Nub Client VMware vSphere@ Auto Deploy VMware vSphere@ Nub to Agent Pre-Upgrade Checker	m ware vSphere [®] 5.1	
Vitware® VCenter™ Simple Install vCenter™ Simple Install vCenter™ Simple Install vCenter™ Simple Install によって、vCenter Server, Single Sign On Server, および Inventory Service が同いホストまたは疲児マシルこインテ ルオれます。あらい いま モンボーペントの時間やとセットアップをガルスタデ オオ 54歳 - Single Sign On Server, Investing Service からのまいで、Investing Service からしたい Vitware vSphere® Client Vitware vSphere® Update Manager™ vCenter サポート ツール Vitware vSphere® ESXI™ Dump Collector Vitware vSphere® Auto Deploy Vitware vSphere® Auto Deploy Vitware vSphere® Auto Deploy Vitware vSphere® Auto Deploy Vitware vSphere® Auto Install Pre-Upgrade Checker	vCenter Serverをインストールするために必要な情報	は、次を参照してください。 http://www.vmware.com/installation
マーティリティ VMware® vCenter™ Host Agent Pre-Upgrade Checker インストール	VMware® 設品 VMware® vCenter™ Simple Install vCenter™ Single Sign On VMware® vCenter™ Inventory Service VMware® vCenter™ Server VMware vSphere® Client VMware vSphere® Web Client VMware vSphere® Update Manager™ vCenter サポート ツール VMware vSphere® ESXI™ Dump Collector VMware vSphere® ESXI™ Dump Collector VMware vSphere® Auto Deploy VMware vSphere® Auto Deploy	VMware® vCenter [™] Simple Install Senter [™] Simple Install Server, および Inventory Service が同じホストまたは仮想マジンにインスト ールされます。あるいは、各コンボーネントの場所とセットアップをカスタマイ ズする場合、Single Sign On Server, Inventory Service, および vCenter Server のJW書で、個々のインストール オブションを選択してコンボーネット を別順のこインストールできます。 許提条件: Microsoft.NET3.5 SP1 Windows Installer 4.5 (パンドルされている Microsoft SQL Server 2008 R2 Express SP1 データペースを使用する場合のみに必要) ① 重要: ライセンス レボートの新しい改善には次のインストールが必要です: VMware vSphere® Web Client
	ユーティリティ VMware®vCenter™ Host Agent Pre-Upgrade Check	er インストール

図 2-23 VMware vCenter のインストーラ

6. 以下の画面で[OK]をクリックします。



図 2-24 Active Domain のメッセージ

7. 以下の画面で[次へ]をクリックします。

🖶 VMware vCenter Simple Install 🛛 🔀		
vmware	vCenter Single Sign On の InstallShield ウィザー ドヘようこそ	
	InstallShield(R) ウィザードでは、コンピュータに vCenter Single Sign On をインストールします。 続行するには「次へ」をクリックしてく ださい。	
vCenter Single Sign On	警告:このブログラムは著作権法および国際協定により保護され ています。	
	<u>次へ (M) > キャンセル</u>	

図 2-25 インストールウィザード初期画面

- 8. [エンドユーザー特許協約]画面で内容を確認し、[次へ]をクリックします。
- 9. [エンドユーザー使用許諾契約書]画面で[使用許諾契約書の条件を承諾します]を選択し、[次へ]を クリックします。

🙀 VMware vCenter Simple Install	×
エンドユーザー使用許諾契約書	
次の使用許諾契約書をよくお読みください。	
VMWARE エンド ユーザー使用許諾契約書	<u> </u>
本エンド ユーザー使用許諾契約書の条項は、本ソフトウ: ンストールの際に表示されるいかなる条件にかかわらず、 ソフトウェアの使用について適用されます。	ェアの イ お客様の
重要事項ですのでよくお読みください:本ソフトウェアの ロード、インストール、または使用によって、お客様 (1 は法人組織) は本エンド ユーザー使用許諾契約書 (以	ダウン 固人また 下、「本 ■
 ● 使用許諾契約書の条件を承諾します(A) ○ 使用許諾契約書の条件を承諾しません(D) 	
InstallShield	
<戻る(18) 次へ(11)>	キャンセル

図 2-26 エンドユーザー使用許諾契約書

10. [vCenter Single Sign On 情報] 画面で、[パスワード]と[パスワードの確認]を入力し、[次へ]をクリックします。

🙀 VMware vCenter Simple	Install	×
vCenter Single Sign On 情報 管理者アカウントのパスワード	履 を設定してください。	
パスワードは少なくとも 8 文字で りません。	、小文字、大文字、数字、特殊文字を最低	1個は含まなければな
ユーザー名: 🛛	dmin@System-Domain	
バスワード(D:	•••••	
パスワードの確認 (0): 🛛 🖡	•••••	
vCenter Server で、ユーザーは Single Sign On サーバを管理する フォルトの vCenter Single Sign C	vCenter Single Sign On を通じて認証されます 5ために、vCenter Single Sign On ユーザーが作 0n 管理者ユーザー ID は「admin@System-Do	「。vCenter E成されます。デ main」です。
InstallShield		
	<戻る(18) 次へ(11)>	キャンセル

図 2-27 vCenter Single Sign On 情報

11. [vCenter Single Sign On データベース] 画面で、[既存のサポートされているデータベースを使用する]を選択し、[次へ]をクリックします。

🔂 VMware vCenter Simple Install	×
vCenter Single Sign On データベース	
vCenter Single Sign On のデータベース タイプを選択してください。	
 ローカルの Microsoft SQL Server 2008 R2 Express インスタンスをインストール(S)。 既存のサポートされているテータベースを使用する(D) データベースはあらかじめインストールされていなければならず、この製品をサポートしていること が必要です。 インストールを続行する前に、データベースのテーブル スペースを作成する必要が あります。テーブル スペースを作成する(cは、スクリプト rsaIMSLite DBName > Setup Tablespaces.sql を実行します。このスクリプトはイン ストーラに付届され、 nstallation_source_directory>¥Single Sign On¥DBScripts¥SSOServer¥schema¥ DB>¥ ディレクトリにあります。 	
InstallShield	-

図 2-28 vCenter Single Sign On データベース

12. [データベース情報]画面で、各項目を確認して、[次へ]をクリックします。

項目名	設定内容
データベースタイプ	Mssql
データベース名	RSA
ホスト名または IP アドレス	vCenter Server をインストールしたパーティションの
	ホスト名または IP アドレス
ポート	「 <u>2.3.1</u> 事前準備」のデータベース構成の手順4で設定
	した番号(例では「49218」)
データベースユーザー名	RSA_USER
データベースパスワード	「 <u>2.3.1</u> 事前準備」でスクリプトファイル
	(rsaIMSLiteMSSQLSetupUsers.sql) に 記 載 した
	「RSA_USER」のパスワード
データベース DBA ユーザー名	RSA_DBA
データベース DBA パスワード	「 <u>2.3.1</u> 事前準備」でスクリプトファイル
	(rsaIMSLiteMSSQLSetupUsers.sql) に 記 載 し た
	「RSA DBA」のパスワード

🙀 VMware vCenter Simple Install	×
データベース情報 vCenter Single Sign On の JDBC 接続情報。	
データベース タイプ(工): Mssql 💌	データベース名(<u>A</u>): RSA
ホスト名または IP アドレス	🗖 Oracle SID を入力する(<u>5</u>)
ポート(<u>O</u>): 49218	サービス名(<u>M</u>):
データベースユーザー名 RSA_USER	データベース パスワード
U. データベース DBA ユーザ RSA_DBA ー名回:	し. データベース DBA パス ワード(B):
□ JDBC URL を自分自身で入力する(E)。	
JDBC URL:	
InstallShield	,
<	戻る(18) 次へ(12) キャンセル

図 2-29 データベース情報

13. [ローカルシステム情報]画面で完全修飾ドメイン名または IP アドレスを確認し、[次へ]をクリックしま す。

🚰 VMware vCenter Simple Install	×
ローカル システム情報	
vCenter Single Sign On ローカル システムに対して必要な情報を入力し い。	てくださ
完全修飾ドメイン名または IP アドレス (1):	
,	
TestallChield	
< 戻る (8) 次へ (1))> キャンセル

図 2-30 ローカルシステム情報

14. 以下の画面が表示された場合は、[OK]をクリックします。



図 2-31 ローカルシステム情報

15. [ターゲットフォルダ]画面で、インストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックしてインストール先を指定してください。

🚏 VMware vCenter Simple Install	×
ターゲット フォルダ VMware vCenter Simple Install をインストールするフォルダを選択してください。	
VMware vCenter Simple Install のインストール先: C:¥Program Files¥VMware¥Infrastructure¥	変更 (<u>C</u>)
InstallShield < 戻る (B) 次へ (M) >	キャンセル

図 2-32 ターゲットフォルダ

16. [vCenter Single Sign On ポートの設定]画面で[HTTPS ポート]を入力し、[次へ]をクリックします。

🔂 VMware vCenter Simple Install		×
vCenter Single Sign On のボートの設 え vCenter Single Sign On の接続情報を入	着 力してください。	
システムで Windows ファイアウォール/イン セットアップではファイアウォールで HTTPS ;	ターネット接続共有サービスが実行 ポートを開きます。	されている場合、
HTTPS ポート(<u>S</u>):	74	144
InstallShield		
	< 戻る(18) 次へ(11) >	++>UU

図 2-33 vCenter Single Sign On ポートの設定

17. [インストールの準備]画面で[インストール]をクリックします。

18. [ライセンスキー]画面で、vCenter Server のライセンスキーを入力し、[次へ]をクリックします。

🙀 VMware vCenter Simple Install	×
ライセンスキー	
ライセンスキーを入力してください。	
= / b> b.	
ライセンス キーを入力しない場合は、 vCenter Server は評価モードでイン ます。	ストールされ
Instalishield < 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

図 2-34 ライセンスキー

19. [データベースオプション]画面で、[既存のサポートされているデータベースを使用]を選択します。 [データソース名]を選択し、[次へ]をクリックします。

🙀 VMware vCenter Simple Install	×
データベース オプション vCenter Server の ODBC データソースを選択してください。	
vCenter Server にはデータベースが必要です。	
○ Microsoft SQL Server 2008 Express のインスタンスをインストールする (ホスト数) 内、仮想マシン数が 50 台以内の小規模なデブロイメント向け)	905台以
◎ 既存のサポートされているデータベースを使用 (U)	
データソース名 (DSN) (D): vCenter (MS SQL)	•
InstallShield <戻る(B) 次へ(M) >	キャンセル

図 2-35 データベースオプション
20. [データベースオプション]画面で、[データベースユーザー名]、[データベースパスワード]を入力し、 [次へ]をクリックします。

🙀 VMware vCenter Simple :	Install	×
データベース オプション データベース サーバの証明書を	と入力してください。	
DSN:	vCenter	
ODBC ドライバ:	SQL Server Native Client 10.0	
データベーフョーザータのい		
データベースパスワード(P):	vpxuser	
InstallShield	< 戻る (8) 次へ (11) >	キャンセル

図 2-36 データベースオプション

21. 以下の画面で[OK]をクリックします。



図 2-37 確認画面

22. [vCenter Server サービス]画面で、[システムアカウントの使用]をチェックし、[完全修飾ドメイン名] を入力し、[次へ]をクリックします。

(-)	/Mware vCenter Simple Install		×
v	Center Server サービス vCenter Server サービス アカウント情報を入力し	てください。	
	vCenter Server サービスがデフォルトの Windows するか、vCenter Server サービスが管理者ユーザ を入力してください。	LocalSystem アカウントで実行するように構成 ー サービス アカウントで実行する場合は詳細	
	🔽 システム アカウントの使用 🕛		
	アカウント名 (A):		
	アカウント パスワード (円):		
	完全修飾ドメイン名: (E)	vmmanage	
	セキュリティ上の忠告: vCenter Server インストー 指定のアカウントに付与します。	ラは、「サービスとしてログオン」権限をユーザー	
Inst	allShield		
	(<戻	る(18) 次へ(10) > キャンセル	

図 2-38 vCenter Server サービス

23. [ポートの構成]画面で、各項目を入力し、[次へ]をクリックします。

必要なポート番号の詳細については、VMware 社のマニュアルを参照してください。

🙀 VMware vCenter Simple Install	×
ポートの構成	
vCenter Server の接続情報を入力してください	o
HTTPS ポート(<u>H</u>):	443
нттр ポート(<u>т</u>):	80
ハートビート ポート (UDP) (E):	902
Web サービス HTTP ポート(<u>W</u>):	8080
Web サービス HTTPS ポート(R):	8443
Web サービス変更サービス通知ポート(A):	60099
LDAP ポート(<u>L</u>):	389
SSL 术一ト(<u>O</u>):	636
□ 使用可能な短期ポートの数を増やす(I)	
使用中の vCenter Server が 2000 を超える仮想 を管理している場合は、このオブションを選択する るのを形かことができます。 Instalished	見マシンの同時パワーオンを予定しているホスト と、使用可能な短期ボートのブールが枯渇す
	る(18) 次へ(11) キャンセル

図 2-39 ポートの構成

24. [vCenter Server JVM メモリ]画面で、[インベントリサイズ]を選択し、[次へ]をクリックします。

👹 VMware vCenter Simple Install	×
vCenter Server JVM メモリ vCenter Server Web サービス JVM メモリの構成を選択してください。	
デプロイメントの構成を最適にするには、現在のセットアップに最も適した vCenter Server を選択してください。	構成
インベントリサイズ 最大メモリ	
○ 小 (100 個のホスト未満または 1000 個の仮 1024 MB 想マシン未満)(S)	
○ 中 (100~400 個のホストまたは 1000~4000 2048 MB 個の仮想マシン)(M)	
○ 六 (400 個のホスト以上または 4000 個の仮 3072 MB 想マシン以上)(L)	
- JVM メモリ サイズの詳細およびそれが vCenter Server に影響する方法については、『vsp のインストールとセットアップ』ドキュメントまたは『vSphere のアップグレード』ドキュメントを参 てください。 InstallShield	here 照し
_ <戻る 個 次へ № > _ キャ	ンセル

図 2-40 vCenter Server JVM メモリ

- 25. [プログラムのインストール準備]画面で、[インストール]をクリックします。
- 26. [インストール完了]画面で、[終了]をクリックします。



図 2-41 インストール完了

27. 以下の画面で、[OK]をクリックします。





次に、「<u>2.3.3 Web Clientのインストール</u>」を実行してください。

2.3.3 Web Clientのインストール

管理サーバに、Web Client をインストールします。

- 1. vCenter Server のインストーラ画面が起動していない場合は、メディアから起動します。
- 2. [VMware® vSphere® Web Client]を選択し、画面右下の[インストール]をクリックします。

インストーラが自動で起動されない場合は、DVD 内の autorun.exe ファイルを起動します。



図 2-43 VMware vCenter のインストーラ

3. 以下の画面で[日本語]を選択し、[OK]をクリックします。

2 727	ヘトールで使用する言語を次の中から選択して下さい。
Ez	□
	OK(<u>Q</u>) キャンセル

図 2-44 言語選択

4. 以下の画面で[次へ]をクリックします。



図 2-45 インストールウィザード初期画面

5. [エンドユーザー特許協約]画面で内容を確認し、[次へ]をクリックします。

6. [エンドユーザー使用許諾契約書]画面で[使用許諾契約書に同意します]を選択し、[次へ]をクリック します。

🙀 VMware vSphere Web Client	×
エンドユーザー使用許諾契約書	
次の使用許諾契約書をよくお読みください。	
VMWARE エンド ユーザー使用許諾契約書	
本エンド ユーザー使用許諾契約書の条項は、本ソフトウ ンストールの際に表示されるいかなる条件にかかわらず、 ソフトウェアの使用について適用されます	ェアの イ お客様の
重要事項ですのでよくお読みください:本ソフトウェアの ロード、インストール、または使用によって、お客様 (1	ダウン 固人また
は法人組織) は本エンド ユーザー使用許諾契約書 (以	下、「本 🖃
 ● 使用許諾契約書に同意します (A) ● 使用許諾契約書に同意しません (D) 	
InstallShield	
<戻る(10) 次へ(11)>	キャンセル

図 2-46 エンドユーザー使用許諾契約書

- 7. [ターゲットフォルダ]画面でインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。
 - インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックしてインストール先を指定してください。

🔂 VMware vSphere Web Client	<
ターゲット フォルダ	
「次へ」をクリックしてこのフォルダにインストールするか、「変更」をクリックして異なる フォルダヘインストールしてください。	
Web Client のインストール先: 変更 (C)]	
C:¥Program Files¥VMware¥Infrastructure¥	
InstallShield	
< 戻る (8) 次へ (11) > キャンセル	J

図 2-47 ターゲットフォルダ

8. [VMware vSphere Web Client のポートの設定]画面で、[HTTP ポート]と[HTTPS ポート]の値を設 定し、[次へ]をクリックします。

🙀 VMware vSphere Web Client			×
VMware vSphere Web Client のボート Web Client の接続情報を入力してくださ(の設定 , ¹ 。		
нттр ポート(Ш):		9090	-
HTTPS ポート(<u>T</u>):		9443	_
InstallShield			
	< 戻る (B)	次へ 🕐 >	キャンセル

図 2-48 VMware vSphere Web Client のポートの設定

9. [vCenter Single Sign On 情報] 画面で、vCenter Server インストール時に設定した vCenter Single Sign On パスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

🙀 VMware vSphere Web Client	×
vCenter Single Sign On 情報	
Web Client を vCenter Single Sign On に登録するための情報を入力してください。	
vCenter Single Sign On 管理者ユーザー名 (大文字小文字を区別)(山):	
Lookup Service URL(L):	
https://vmmanage:7444/lookupservice/sdk	
InstallShield	
<戻る(18) 次へ(11)>	キャンセル

図 2-49 vCenter Single Sign On 情報

10. [インストールの準備]画面で、[インストール]をクリックします。

11. インストールが完了したら、以下の画面で[終了]をクリックします。

🛃 VMware vSphere Web C	lient 🗶
vmware	VMware vSphere Web Client のインスト ールが 完了しました
	セットアップで VMware vSphere Web Client が正常にインストール されました。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してください。
VMware vSphere® Web Client	
	< 戻る (B) 終了(P) キャンセル

図 2-50 インストール完了

- 12. 手順2のインストーラ画面で、[終了]をクリックします。
- 13. リモートストレージでインストールメディアを切断します。

2.4 インストール後の設定と確認

仮想マシン作成の前に、管理クライアント PC から実施する作業を以下に示します。

設定項目	参照先
クライアント統合プラグインツールのイ	<u>2.4.1</u> クライアント統合プラグインのインストール
ホストのネットワーク詳細設定	
VMware vSphere Client の接続	
NTP 設定	949 ネットローク設定
テンポラリ領域の設定	<u> 2.4.2</u> <u>小り下りつり</u> 設定
管理 LAN の設定	
業務 LAN の設定	
ソフトウェアのアップデート	<u>2.4.3</u> ソフトウェアのアップデート
ServerView ESXi CIM Provider $\mathcal{O}\mathcal{I}\mathcal{V}$	<u>2.4.4 ServerView ESXi CIM Providerの確認</u>
ストール確認	
管理情報・構成情報の保存	2.4.5 管理情報・構成情報の保存
セキュリティの設定	<u>2.4.6</u> セキュリティの設定

2.4.1 クライアント統合プラグインのインストール

vSphere Web Client から仮想マシンコンソールにアクセスするため、クライアント統合プラグイン をインストールします。

- 1. 管理クライアント PC でブラウザ(本書では Internet Explorer)を起動し、以下の URL に接続します。

 https://<vSphere 管理サーバ名>.<DNS サフィックス>:9443/vsphere-client
- 2. 以下の画面が表示された場合、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックします。

8	この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。
	この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、信頼された証明機関から発行されたものではあり ません。
	この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行されたものです。
	セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターからサーバーに送信される情報を 盗み取る意図が示唆されている場合があります。
	このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。
	🥑 ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。
	😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。
	● 詳細情報

図 2-51 セキュリティ警告画面 (Internet Explorer)

vm ware [.]	
ユーザー %:	VMware vSphere Web Client
パスワード: Windows セッション認証を使用してください	
クライアント統合プラグインのダウンロード 🚯 ヘルプ	

3. 以下の画面で、[クライアント統合プラグインのダウンロード]をクリックします。

図 2-52 Web Client 初期画面

4. 以下の画面で[保存]をクリックし、管理クライアント PC の任意のフォルダに

「VMware-ClientIntegrationPlugin- <VMware のバージョン>.exe」を保存します。



図 2-53 ダウンロードメッセージ

5. 保存した exe ファイルをダブルクリックして実行します。

プラグインのインストーラが起動します。

6. 以下の画面で[Next]をクリックします。

VMware Client Integration Plug-in 5.1.0				
vmware	Welcome to the installation wizard for the VMware Client Integration Plug-in 5.1.0			
	This wizard will install the VMware Client Integration Plug-in 5.1.0 on your computer.			
	To continue, dick Next.			
Client Integration Plug-in				
	Back Next Cancel			

図 2-54 プラグインインストーラ初期画面

7. [End-User License Agreement]画面で、[I accept the terms in the License Agreement]を選択し、 [Next]をクリックします。

B VMware Client Integration Plug-in 5.1.0	- • ×
End-User License Agreement	
Read the following agreement carefully.	
VMWARE OPEN VIRTUALIZATION FORMAT TOOL LICENSE AGREEM	ENT
Notice to User: This Open Virtualization Format Tool ("OVF Tool") License Agreemen CONTRACT between you (either an individual or a single entity) and VMware, Inc. ("VMware"), which covers your use of the VMware soft that accompanies this OVF Tool License Agreement and related softw components, which may include associated media, printed materials, a "online" or electronic documentation. All such software and materials referred to herein as the "Software " If you do not agree to the terms of a accept the terms in the License Agreement b I do not accept the terms in the License Agreement	nt is a tware yare and s are of this <u>Print</u>
<u>B</u> ack <u>N</u> ext	Cancel

⊠ 2-55 End-User License Agreement

8. [Destination Folder]画面で、インストール先を確認し、[Next]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[Change]をクリックしてインストール先を指定してください。

岃 VMware Client Integration Plug-in 5.1.0	
Destination Folder	
Select the installation location.	
Install the VMware Client Integration Plug-in 5.1.0 in:	
C:¥Program Files¥VMware¥Client Integration Plug-in 5.1¥ Change	
Back Next	Cancel

⊠ 2-56 Destination Folder

9. [Ready to Install the Plug-in] 画面で、 [Install]をクリックします。



 $\boxtimes 2-57$ Ready to Install the Plug-in

10. インストールが完了したら、[Installation complete] 画面で[Finish]をクリックします。

😸 VMware Client Integratio	on Plug-in 5.1.0	
vmware	Installation complete	
	The VMware Client Integration Plug-in 5.1. installed on your computer.	0 has been
	Click Finish to exit the wizard.	
Client Integration Plug-in		
	<u>B</u> ack <u>Finish</u>	Cancel

⊠ 2-58 Installation complete

2.4.2 ネットワーク設定

VMware vSphere Client で、ホストのネットワーク設定をします。

■ VMware vSphere Client の接続

1. 管理クライアント PC で VMware vSphere Client を起動します。

デスクトップ上の [VMware vSphere Client] アイコンをダブルクリックするか、 [スタート] → [すべてのプログラム] → [VMware] → [VMware vSphere Client] をクリ ックして起動します。

- 2. ログイン画面で以下の項目を入力し、[ログイン]をクリックします。
 - ホスト (ESXi サーバ) の IP アドレスまたはホスト名
 - ユーザー名
 - パスワード

🖉 VMware vSphere Client	t X
vmware [.] VMware vSphere [™] Client	
単一のホストを直接管理す 複数のホストを管理するには します。 IP アドレス/名前 (1): ユーザー名 (1): パスワード (P):	るには、IP アドレスまたはホスト名を入力します。 、vCenter Server の IP アドレスまたは名前を入力
	□ Windows セッションの認証情報を使用する (W) □ ヴイン(L) 閉じる (C) ヘルプ (H)

図 2-59 vSphere Client

3. [セキュリティ警告]画面で、[無視]をクリックします。

セキュリティ警告				
証明書に関する警告				
信頼性のない SSL 証明書が「「」」しにインストールされているため、安全な通信は保証できま せん。セキュリティポリシーによっては、これがセキュリティ上の問題にならない場合があります。この警告 を非表示にするには、信頼性のある SSL 証明書をサーバにインストールする必要がある場合がありま す。				
「 」から受信した証明書が「vmware01.」に発行されました。「 」との安全な 通信が保証できません。証明書の完全修飾ドメイン名が、接続するサーバのアドレスと一致しているこ とを確認してください。				
「無視」をクリックすると、現在の SSL 証明書を継続して使用します。				
証明書の表示 無視 ① キャンセル ②				
□ この証明書をインストールし、「 == == == 」に対するセキュリティ警告をすべて表示しない (N)				

図 2-60 セキュリティ警告

4. [VMware 評価のお知らせ]画面で[OK]をクリックします。

VMware vSphere Client のホスト画面が表示されます。

VMware 評価のお知らせ	
60日以内に評価ライセンスの期限が切れます。	
評価ライセンスの期限が切れると、ESXi ホストがインベントリ内のすべ ての仮想マシンの管理を停止する可能性があります。これらの仮想マ シンを管理するには、ライセンスを取得して ESXi ホストに割り当てる必 要があります。	
ライセンスを ESXi ホストに割り当てます OK	

図 2-61 VMware 評価のお知らせ

ESXiのライセンスキーは、「<u>3.1.1</u>データセンターの作成とホストの追加」で行います。

■ NTP 設定

備考

1. 以下の画面で[インベントリ]アイコンをクリックします。

ファイル (<u>E</u>)	編集 (<u>E</u>)	表示 (<u>W</u>)	インベントリ (<u>N</u>)	管理 (<u>A</u>)	プラグイン (<u>P</u>)	ヘルプ (<u>H</u>)
	🛕 ホーム					
インベントリ						
Ţ I						
インベントリ						
管理						
8						
0-ル	97	ペテム ログ				

図 2-62 ホスト初期画面

2. [構成]タブを選択します。



図 2-63 構成

3. [ソフトウェア]欄の[時間の構成]をクリックします。

vmware01 VMware ESXi, 5.1.0, 83	8463 評価 (残り 60 日)	
【はじめに】 サマリ】 仮想マシン 【リソー	-ス割り当て パフォーマンス 構成 ロ	ーカル ユーザーおよびグループ 🔪 イベント 🗸 梢
-דיסיד	時間の構成	更新 プロパティ
健全性ステータス	全般	
プロセッサ	日付と時刻	23:36 2012/12/27
メモリ	NTP クライアント	停止
ストレージ	NTP サーバ	
ネットワーク		
ストレージ アダプタ		
ネットワーク アダプタ		
詳細設定		
電力管理		
<u>フ</u> トウェア		
ライセンス機能		
時間の構成		
DNS およびルーティング		
認証サービス	注:ホストの日付および時刻は、この v	Sphere Client の現地時間に変換されていま
価相マミンはお新たいかいたが白い	ਰ 。	

図 2-64 構成―時間の構成

4. 右上の[プロパティ]をクリックします。

5. [時間の構成]のプロパティ画面で、[NTP クライアント使用可能]をチェックし、[オプション]をクリックし ます。

全般	
- 日付と時間 - vSphere Client	tの現地時間でホストの日付と時刻を設定します。
時間:	23:38:13 ÷
日付:	2012年12月27日 💌
ホストのデータを	を受信するようになります。
NTP 構成	
NTP 構成	123
- NTP 構成	123 udp
NTP 構成 出力ポート: プロトコル: Iマ INTP クライ	123 udp アント使用可能 オブション

図 2-65 時間の構成 (プロパティ)

6. [NTP デーモン (ntpd) オプション]画面で、[いずれかのポートが開くと自動的に開始し、すべてのポ ートが閉じると停止]を選択します。

🕜 NTP デーモン (ntpd) オ:	ブション	×
全般 NTP 設定	2テータス (存止 起動ポリシー ・ ・ いずれかのボートが開くと自動的に開始し、すべてのボートが閉じると(存止 ホストに連動して開始および(存止 手動で開始および(存止 サービス コマンド 聞始 「存止 再起動	
	OK キャンセル ヘル	, ј Ш

図 2-66 NTP デーモン (ntpd) オプション (全般)

🕜 NTP デーモン (ntpd) オブ	ジョン ()	×
全般 MTP 設定	NTP サーバ 道加 道加 資加 資加 第四条	
	OK キャンセル ヘル	7 W

7. 左の欄から[NTP 設定]を選択し、[NTP サーバ]欄の[追加]をクリックします。

図 2-67 NTP デーモン (ntpd) オプション (NTP 設定)

8. [NTP サーバの追加]画面で、使用する NTP サーバの IP アドレスを入力し、[OK]をクリックします。

🖉 NT	アサーノ	(の追加			×
TTR דוק	・サーバ - ドレス:				
			OK	キャンセル	<u> ヘルプ 田</u>

図 2-68 NTP サーバの追加

- 9. [NTP デーモン (ntpd) オプション] 画面に戻り、[NTP サーバ] 欄に追加した NTP サーバの IP アドレ スが表示されていることを確認します。
- 10. [変更を適用するには NTP サービスを再開]をチェックし、[OK]をクリックします。

🕜 NTP デーモン (ntpd) オプション	×
全般 NTP 設定 ■ NTP サーバー ■ ア 変更を)	<u>追加</u> 箇用するには NTP サービスを再開
	OK ++>>U/ /// (H)
	ーモン (ntpd) オプション(設定後)

11. [時間の構成]のプロパティ画面で、[OK]をクリックします。

12. [構成]タブで、右上の[更新]をクリックします。

13. [日付と時刻]の内容が正しいこと、[NTP クライアント]が[実行中]になっていること、および[NTP サ ーバ]が設定されていることを確認します。

同期に数分かかる場合があります。

vmware01 VMware ESXi, 5.1.0, 8384	63 評価 (残り 60 日)	
【はじめに】「サマリ」「仮想マシン」「リソース?	割り当て、パフォーマンス、構成、ローカ	ル ユーザーおよびグループ 【イベント】 権限 <
ለ-ドウェア	時間の構成	更新 プロパティ
健全性ステータス	全般	
プロセッサ	日付と時刻	15:16 2012/12/27
メモリ	NTP クライアント	実行中
ストレージ	NTP サーバ	15.5.8.3
ネットワーク		
ストレージ アダプタ		
ネットワーク アダプタ		
詳細設定		
電力管理		
ሃንኑሳェア		
ライセンス機能		
▶ 時間の構成		
DNS およびルーティング		
認証サービス	注:ホストの日付および時刻は、この vs	ohere Client の現地時間に変換されていま
仮想マシン起動/シャットダウン	च.	

図 2-70 構成 (NTP 設定後)

■ テンポラリ領域の設定

- 1. [構成]タブで、[ソフトウェア]欄の[詳細設定]をクリックします。
- 2. [詳細設定] 画面の左の欄で、 [ScratchConfig]を選択します。



図 2-71 詳細設定

3. [ScratchConfig.ConfiguredScratchLocation]に値が設定されていることを確認し、[OK]ボタンをク リックします。

値が設定されていない場合は、以下のサイトから『ソフトウェア説明書』を参照し、テンポラ リ領域の設定を行ってください。

[『VMware vSphere 5.1 ソフトウェア説明書』の公開場所]

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/catalog/manual/vmware/

■ 管理 LAN の設定

管理 LAN として使用する仮想スイッチを設定します。

1. [構成]タブで、[ハードウェア]欄の[ネットワーク]をクリックします。

vmware01 VMware ESXi, 5.1.0, 83 はじめに 、サマリ 、仮想マシン 、リソー	38463 評価 (残り 60 日) -ス割り当て パフォーマンス <mark>構成</mark> ローカル ユーザーおよびグループ イベン	ント↓権限↓
ハードウェア 健全性ステータス プロセッサ	表示: vSphere 標準スイッチ ネットワーク 更新 ネットワークの追加	プロパティ
メモリ ストレージ ・ ネットワーク ストレージ アダプタ ネットワーク アダプタ 詳細設定 電力管理	標準スイッチ: vSwitch0 削除 仮想マシンのボート グループ 物理アダプタ VM Network 全 mmic1 100 VMkemel ポート Management Network 全 vmk0: fe80::217:42ff:fe9b:de7e	プロパティ 全二重 - ワ
ソフトウェア ライセンス機能 時間の構成 DNS およびルーティング 認証サービス		

図 2-72 構成-ネットワーク

- 2. 管理 LAN として使用する vSwitch(例では vSwitch0)の画面で右上の[プロパティ]をクリックします。
- 3. プロパティ画面で、[ネットワーク アダプタ]タブを選択し、[追加]をクリックします。

🕗 vSwitch0 プロパティ		
ポート ネットワーク アダプタ		
 ネットワーク アダブタ 速度 実際の IP の範囲 マmnic1 100 全 道加 道加 満野余 	アダブタの詳細 Intel Corporation 82576 Gi 名前: 場所: ドライバ: ステータス リンク ステータス: 構成済み速度、二重: 実際の速度、二重: iSCSI ポートバインド: ネットワーク:	gabit Network Connection vmnic1 PCI 05:00.0 igb 接続中 オートネゴシエーション 100 Mb、全二重 無効
		開じる 117 H</td

図 2-73 ネットワークのプロパティ

4. [アダプタの選択]画面で、管理 LAN として追加するアダプターをェックし、[次へ]をクリックします。

🕜 アダプタの追加ウィ	ィザード			
アダプタの選択 新規アダプタは、ラ る可能性がありま	も使用のブールから取得される す。	5か、既存の vSphere 机	票準スイッチから転用され	
アダプタ NIC の順番 サマリ	次のリストから 1 つまたは複 続されているアダプタを選択 のスイッチにご自加されます。	懐のアダプタを選択しま ですると、その vSphere れ	ミす。 別の vSphere 標準スイッチに接 標準スイッチからアダプタが削除され、 こ	1
	名前	速度	ネットワーク	i
	未要求アダプタ			
	Intel Corporation 82	567LF-2 Gigabit Net	twork Connection	
	🔲 📟 vmnic0	100 半二重	なし	
	Intel Corporation 82	571EB Gigabit Ethe	rnet Controller	
	🔲 📟 vmnic5	切断	なし	
	🔲 📟 vmnic6	切断	なし	
	Intel Corporation 82	576 Gigabit Networ	k Connection	
	🗹 📟 vmnic2	100 全二重	0.0.0.1 255 255 255 256	
	🔲 📟 vmnic3	切断	なし	
	🔲 📟 vmnic4	切断	なし	
				-
/ L)		夏	記 (3) 次へ (3) キャンセル	

図 2-74 アダプタの選択

5. [フェイルオーバーの順序]画面で、[有効なアダプタ]と[スタンバイ アダプタ]を設定(画面例では1つ ずつ)し、[次へ]をクリックします。

🕜 アダプタの追加ウィ	ゲード			
フェイルオーバーの順 新規アダプタは、キ トラフィックを転送	1序 寺に指定されていない します。	かぎり、vSphere	≥ 標準スイッチおよびそのポート グルー	ブの
<u>アダプタ</u> NIC の順番 サマリ	ボリシーのフェイル このポートグループT イルオーバー中に、) -	オーバー順序 で有効なアダプ 次の項目で指定	タとスタンバイ アダプタを選択します。フ とした順番でスタンバイ アダプタが起動	I JU
	構成		サマリ	
	vSwitch		128 ポート	
	之前	语度	201-7	トム設計
	有効なアダウタ	/企/史	#VE2_2	
	wmnic1	100 全二重	10.20.90.100-10.20.90.1	下八移動
	スタンバイ アダプタ			
	🔛 vmnic2	100 全二重	3525.96.348-3525.96.1.	
<u> へルプ 田</u>			戻る(≤) 次へ ()	シ キャンセル

図 2-75 フェイルオーバーの順序

6. [アダプタサマリ]画面で追加したアダプター名が表示されていることを確認し、[終了]をクリックしま す。

🕜 アダプタの追加ウィ	げード	
アダプタ サマリ 沃のアダプタは、オ	ペート グループに追加されます。	
<u>アダプな</u> <u>NIC の順番</u> サマリ)次のリストを確認してから、ウィザードを終了してください。 vmnic2	
U	_戻る(≤)続	7 (E) ++>>U/

図 2-76 アダプタサマリ

7. [ネットワークアダプタ]タブで追加したアダプター名が表示されていることを確認します。

	vmnic1	100 全 100 全	1997 (1997)	Intel Corporation 82576 G 名前: 場所: ドライバ: ステータス リンクステータス: 構成済み速度、二重: 実際の速度、二重: iSCSIポートパインド: ネットワーク:	igabit Network Connection vmnic1 PCI 05:00.0 igb 接続中 オートネゴシエーション 100 Mb. 全二重 無効
--	--------	----------------	---	---	--

図 2-77 [ネットワークアダプタ]タブ(管理 LAN 設定後)

8. プロパティ画面で[ポート]タブを選択し、構成一覧から[vSwitch]を選択します。

2	vSwitch0 プロパティ				
0	ボート ネットワーク アダプタ				
	構成	サマリ	- vSphere 標準スイッチ プロパティ		
	vSwitch	120 ポート	ポート数:	120	
	👷 VM Network	仮想マシンのポ			
	🧕 Management Net	vMotion および IP	言手糸田ブロパティー		
			MTU:	1500	
			「デフォルト ポリシー		
			セキュリティ		
			無差別モード:	拒否	
			MAC アドレス変更:	承諾	=
			偽装転送:	承諾	
			トラフィックシェーピング		
			平均/心ド幅:		
			ピークバンド幅:		
			バースト サイズ:	-	
			フェイルオーバーとロード バランシング		
			ロード バランシング:	ポート ID	
			ネットワークの障害検出:	リンク状態のみ	
			スイッチへの通知:	(\$(.)	
) [フェイルバック:	(まい)	
		福果 門师	有効なアダプタ:	vmnic1	-
				閉じる	U

図 2-78 [ポート] タブ (vSwitch)

- 9. [編集]をクリックします。
- 10. 表示された画面で、[NIC チーミング]タブを選択します。

- 11. 以下の設定になっていることを確認し、[OK]をクリックします。
 - ネットワークのフェイルオーバー検出:リンク状態のみ
 - フェイルバック:はい

	9:	発信元の	の仮想ポートでの	こまざいたり	, k 🔍
ネットワークのフェ	~ イルオーバー検出	死間/CV 12月時	Ena	C48 D 6 4 C / 1	
・・・・ ・・・・ スイッチへの通知		· [9254/3	20007		
フェイルバック:					
		1,010			<u> </u>
//////////	onerp.				
このポートグルー	づで有効なアダプ・	タとスタンバイ アダプタ	を選択します。フ	τイルオーバ	一時に、次
の項目で指定し	た順番でスタンバー	(アダプタが起動しま	€/æ//(Ock 90). ∮o	11/05 71	- dec //
名前	速度	ネットワーク			十八移動
有効なアダプタ				-	T. 1041
vmnic1	100 全二重	35,25,98,368-3	8.26.98.175	_	卜八移動
フかいしん つめつ	 р				
AMI 797					
wmnic2	100 全二重	0.0.0.1-255.255	1,255,25e		
wmnic2 未使用アダプタ	100 全二重	688.1 295.29	1, <u>3917, 375</u> H		
wmnic2 未使用アダプタ	100 全二重	0.8.8.1-295.295	1,2995,2954		
スショイローアタン ■ vmnic2 未使用アダプタ	100 全二重	6.6.5.2 295.298	1,255,254		
 wmnic2 未使用アダプタ - アダプタの詳細 	100 全二重	6.6.6.1-295.295	1.255.254		
 wmnic2 未使用アダプタ - アダプタの詳細 	100 全二重	6.6.6.1-295.295	5.295.254		
 wmnic2 未使用アダプタ - アダプタの詳細 名前: 	100 全二重	8.8.1.255.255	5.295.254		
 wmric2 未使用アダプタ -アダプタの詳細 名前: 場所: 	100 全二重	8.8.1.255.255	1,255,254		
 wmic2 未使用アダプタ アダプタの詳細 名前: 場所: ドライバ: 	100 全二重	6.6.1.255.255	1,255,254		

図 2-79 [NIC チーミング] タブ (vSwitch)

12. プロパティ画面で構成一覧から[VM Network]を選択し、[編集]をクリックします。

0	vSwi	tch0 プロパティ					×
7	ポート	ネットワーク アダプタ					
	構成	ì	サマリ	- ポート グループのプロパティー			
	1	vSwitch	120 ポート	ネットリーク ラベル:	VM Network		
		VM Network	仮想マシンのポ	VLAN ID:	なし (0)		
	2	Management Net	vMotion およひ IP	有効なポリシー			
				セキュリティ			
				無差別モード:	拒否		
				MAC アドレス変更:	承諾		
				偽装転送:	承諾		
				トラフィック シェーピング			
				平均/心ド幅:			E
				ピークバンド幅:			
				バーストサイズ:			
				フェイルオーバーとロードバ	ランシング		
				ロード ハランシング:	ボートID		
				ネットリークの障害検出:	リンク状態のみ		
				人イッチへの知恵知	(JL)		
				ノエイルハック:	(86)		
				有対応アダプタに	vmnic1 tsl		
	追	tn	編集 削除	大タンパイアタフタ・	78.U		
				本は用のアタフタ・	780		
						閉じる ヘル:	プ [1]

図 2-80 [ポート] タブ (VM Network)

13. 以下の画面で、[ネットワークラベル]を入力し、[OK]をクリックします。

🕗 VM Network プロパティ				×
全般「セキュリティ」トラフィック	?/ェーピング NIC チー3	s.81		
ポートグループのプロパティー	51 C55 [MC5 -			1
ネットワークラベル:	test01			
VLAN ID (任意):	なし (0)		-	
	,			
		ОК	キャンセル	ヘルプ (土)

図 2-81 [全般] タブ (VM Network)

- 14. プロパティ画面に、設定したネットワークラベル名が表示されていることを確認します。
- 15. 構成一覧から[Management Network]を選択し、[編集]をクリックします。

🕗 vSwitch0 プロパティ	and the second	Acres 14		x
ポート ネットワーク アダプタ				
構成 響 vSwitch 愛 test01 ☆ Management Net	サマリ 120 ポート 仮想マシンのポ vMotion および IP	ポートのプロパティ ネットワークラベル: VLAN ID: vMotion: Fault Tolerance のログ: 管理トラフィック:	Management Network なし (0) 無効 無効 有効	•
		NIC 設定 MIC 設定 MAC アドレス: MTU:	m:x0 00:17:42:9b:de:7e 1500	
		─ IP 設定 ─ IP アドレス: サブネット マスク:		
		- IPv6 設定 IPv6 アドレス:	fe80::217:42ff:fe9b:de7e/64 ルーティング テーブルの表示	
	編集 削除	ー有効なポリシー ヤキョリティ		+
			閉じる ヘルプ	ษ

図 2-82 [ポート] タブ (Management Network)

16. [フェイルバック]を[いいえ]に設定し、[OK]をクリックします。

 □ - ト ハランシング: ネットワークのフェイルオーバー4 スイッチへの適動ね: フェイルバック: フェイルオーバーの順序: スイッチのフェイルオーバー# 	 ✓ 発信元の仮想ポートID(法) ※出: ✓ リンク状態のみ ✓ はい ✓ はい ✓ はい ✓ いれえ 	ジいオルート ▼ ▼ ▼
このボートグループで有効なア の項目で指定した順番でスタ 名前 速度 有効なアダプタ	ダブタとスタンパイ アダブタを選択します。フェイル バイ アダブタが起動します。 ネットワーク	オーバー時に、次 上へ移動 下へ移動
100 全二重 スタンパイ アダプタ 未使用アダプタ	110.201.000.1010 - 110.201.000.1291	
- アダプタの言羊給田		
名前: 場所:		
1 K547.		

図 2-83 [NIC チーミング] タブ (Management Network)

17. [構成]タブのネットワーク画面で、管理 LAN に使用する vSwitch にネットワークアダプターが追加され ていることを確認します。

vmware01 VMware ESXi, 5.1.0, 8384	53 評価 (残り 60 日)	
はじめに サマリ 仮想マシン リソース書 ハードウェア 健全性ステータス プロセッサ	初り当て パフォーマンス 構成 ローカル ユ 表示: vSphere 標準スイッチ ネットワーク	ーザーおよびグループ イベント 権限 更新 ネットワークの追加 プロパティ
 メモリ ストレージ ネットワーク ストレージ アダブタ ネットワーク アダブタ 詳細設定 電力管理 	標準スイッチ: vSwitch0 仮想マシンのポート グループ test01 ・ VMkernel ポート Management Network vmk0: fe80::217:42ff:fe9b:de7e	削除 プロパティ 物理アダプタ ♥ vmnic1 100 全二重 ワ ♥ vmnic2 スタンパイ ワ
ソフトウェア ライセンス機能 時間の構成 DNS およびルーティング 認証サービス		_

図 2-84 構成—ネットワーク(管理 LAN 設定後)

■ 業務 LAN の設定

業務 LAN として使用する仮想スイッチを設定します。

- 1. [構成]タブのネットワーク画面で、右上の[ネットワークの追加]をクリックします。
- 2. [接続タイプ]画面で、[仮想マシン]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

🕗 ネットワークの追加ウィザー	× • • •
接続タイプ ネットワーク ハードウェアは、	パーティションに分割して、接続が必要な各サービスを保存できます。
接続タイプ ネットワーク アクセス 接続設定 サマリ	接続タイプ ・ 仮想マシン ラベルけけされたネットワークを追加して、仮想マシンのネットワークトラフィッ クを処理します。 ・ VMkernel Wikemel TCP/IP スタックは次の ESXi サービスのトラフィックを処理します: vSphere vMotion、ISCSI、NFS、およ びホスト管理。
UIJ (H	戻る (S) 次へ (D) キャンセル

図 2-85 接続タイプ

- 3. [仮想マシン ネットワークアクセス]画面で、以下の設定をして[次へ]をクリックします。
 - [vSphere 標準スイッチの作成] を選択
 - リストから業務 LAN として使用するアダプターを選択

🕜 ネットワークの追加ウィ	u ا ا	x
仮想マシン - ネットワーク 仮想マシンは、vSpher	アクセス e 標準スイッチに接続されているアップリンク アダプタを介して、ネットワークにアクセスします。	
<u>接続たイプ</u> ネットワークアクセス 接続設定 サマリ	Cの接続のネットワークトラフィックを処理する vsphere 標準スイッチを選択します。次に表示される未使用のネットワーク ア ダブダを使用して、新規 vsphere 標準スイッチを作成することもできます。	4 III +
		¥

図 2-86 仮想マシン - ネットワークアクセス

4. [仮想マシン – 接続設定]画面で、[ネットワークラベル]を入力し、[次へ]をクリックします。

🕜 ネットワークの追加ウィザー	۴			
仮想マシン - 接続設定 ネットワークラベルを使用し	て、複数のホストに共通する、移行に	L適した接続を特定します。		
<u>接続タイプ</u> ネットワークアクセス 接続設定 サマリ	ーボート グループのプロパティ ― ネットワーク ラベル: VLAN ID (任意):	仮想マジン ネットワーク_test なし (0)	×	
	プレビュー: □仮想マシンのボート グルーフ ー 仮想マシン ネットワーク_tes	st物理アダプタ st ■ Wrnic0		

図 2-87 仮想マシン - 接続設定

5. [終了準備の完了]画面で、追加したvSwitchの内容が正しく構成されていることを確認し、[終了]をク リックします。

🕜 ネットワークの追加ウィザー	۶.	
終了準備の完了 新しい vSphere 標準スイッ	チおよび変更した vSphere 標準スイッチがすべて適切に構成されていることを確認します。	
接続タイプ ネットワーク アクセス 接続設定 サマリ	ホストネットワークには、次の新規および変更標準スイッチが含まれます: フレビュー: 「仮想マシンのポートヴループ 仮想マシンネットワーク_test	
へルプ 田	展る(会) 終了(日)	*+>>セル

図 2-88 終了準備の完了

6. [構成]タブのネットワーク画面で、作成した業務 LAN 用 vSwitch(画面例では vSwitch1)の[プロパ ティ]をクリックします。

vmware01 VMware ESXi, 5.1.0, 83846	53 評価 (残り 60 日)	
【はじめに】 サマリ 【仮想マシン】 リソース書	削り当て パフォーマンス 構成 ローカル	ユーザーおよびグループ、イベント、権限
<mark>ለ-ドウェア</mark> 健全性ステータス	表示: vSphere 標準スイッチ ネットワーク	更新 ネットワークの追加 プロパティ
プロセッサ メモリ ストレージ	標準スイッチ: vSwitch0	育収除 プロパティ
・ ネットワーク ストレージ アダプタ	仮想マシンのボート グループ — 「test01	物理アダプタ ● ● ● ● ● ● vmnic1 100 全二重 ♀
ネットワーク アダプタ 詳細設定	- VMkernel ボート - Management Network	• vmnic2 , , 95/14
電力管理 	fe80::217:42ff:fe9b:de7e	
ソフトウェア	_	
ライセンス機能	標準スイッチ: vSwitch1	削除 プロパティ
時間の構成	- 仮想マシンのボート グループ	物理アダプタ
DNS およびルーティング		
認証サービス 仮相マジンを動かったのよりの		

図 2-89 構成—ネットワーク(業務 LAN 設定中)

PRIMEQUEST 1000 シリーズ かんたん構築ガイド(VMware 編)

7. プロパティ画面で[ポート]タブを選択します。

🕗 vSwitch1 プロパティ			x
ポート ネットワーク アダプタ			
構成 サマリ	- vSphere 標準スイッチ プロパティ		-
す vSwitch 120 ポート	ポート数:	120	
👤 仮想マシン ネット 仮想マシンのポ	======================================		
	言手が出ノロハナイ		
	MTU:	1500	
	 デフォルト ポリシー		
	セキュリティ		
	無差別モード:	拒否	
	MAC アドレス変更:	承諾	=
	偽装転送:	承諾	
	トラフィックシェーピング		
	平均バンド幅:		
	ピークバンド幅:	-	
	バーストサイズ:	-	
	フェイルオーバーとロード バランシング		
	ロード バランシング:	ポート ID	
	ネットワークの障害検出:	リンク状態のみ	
	スイッチへの通知:	(まい)	
	フェイルバック:	(まい)	
	有効なアダプタ:	vmnic0	-
		閉じる ヘルプ	H

図 2-90 [ポート] タブ (vSwitch)

- 8. 構成一覧から[vSwitch]を選択して、[編集]ボタンをクリックします。
- 9. 表示された画面で[NIC チーミング]タブを選択します。
- 10. 以下の設定になっていることを確認し、[OK]をクリックします。
 - ネットワークのフェイルオーバー検出:リンク状態のみ
 - フェイルバック:はい

会設 ↓ セキュリテ ーポリシー例外 −	ィ│トラフィックシェー	ピング 🔃	ICチーミング】		
ロード バランシン	ング:		発信元の仮想ポート	ID に基づいた/	V−F ▼
ネットワークのフ:	ェイルオーバー検出:		, リンク状態のみ		
スイッチへの通知	EO:		(tu		-
フェイルバック:			(tu		•
フェイルオーバー このボート グル・ の項目で指定し	・の順序: ープで有効なアダプタ した順番でスタンバイ	とスタンバ・ アダプタが	イアダブタを選択します 起動します。	。フェイルオーバ	「一時に、)次
名前	速度	ネット	ワーク		上へ移動
有効なアタフタ ■ vmnic0 スタンパイ アダ 未使用アダプタ	! 100 半二 <u>重</u> プタ 2	なし			下八移動
- アダプタの言羊刹	8				
 アダブタの詳細 名前: 	Ð				
 アダプタの詳約 名前: 場所: 	8				
 アダプタの詳細 名前: 場所: ドライバ: 	8				
アダプタの詳細 名前: 場所: ドライバ:	8				

図 2-91 [NIC チーミング] タブ

11. プロパティ画面で[フェイルオーバーとロードバランシング]の設定内容を確認し、[閉じる]をクリックします。

[#9F9=97979]				
構成	サマリ	-vSphere 標準人イッチ フロパティー		
1 vSwitch	120 ポート	ポート数:	120	
💆 仮想マシン ネット	仮想マシンのポ	- 詳細プロパティ		
		MTU:	1500	
		「デフォルト ポリシー ―――		
		セキュリティ		
		無差別モード:	拒否	
		MAC アドレス変更:	承諾	
		偽装転送:	承諾	
		トラフィック シェーピング		
		平均バンド幅:		
		ピークバンド幅:	-	
		バーストサイズ:		
		フェイルオーバーとロード バランジ	リング	
		ロード バランシング:	ポート ID	
		ネットワークの障害検出:	リンク状態のみ	
		スイッチへの通知:	はい	
		フェイルバック:	はい	
追加	編集 削除	有効なアダプタ:	vmnic0	

図 2-92 [ポート] タブ(業務 LAN 設定後)

12. [ファイル]メニュー→[終了]をクリックし、vSphere Client を終了します。

2.4.3 ソフトウェアのアップデート

新しい版数のドライバ、ツールが公開されている場合は、ソフトウェアのアップデートをしてくだ さい。

各ソフトウェアのアップデート手順については、『ソフトウェア説明書』および富士通SupportDesk 契約者向けWebページ(富士通SupportDesk:<u>http://eservice.fujitsu.com/supportdesk/</u>)を参照し てください。

2.4.4 ServerView ESXi CIM Providerの確認

監視ツールの ServerView ESXi CIM Provider について確認します。

■ インストールの確認

以下の手順で、インストールされていることを確認します。

1. 管理クライアント PC で、VMware CLI を起動します。

[スタ - ト] → [すべてのプログラム] → [VMware] → [vSphere CLI] → [Command Prompt]をクリックしてください。

2. 表示されたコマンドプロンプト画面で、bin フォルダに移動します。

>cd bin

3. 以下のコマンドを実行します。

4. 表示される内容に、「svscimprovider」の行が表示されることを確認します。

Name	Version	Vendor	Acceptance Level	Install Date
		:		
svscimprovider	n.nn-nn	Fujitsu	VMware Accepted	yyyy-mm-dd
		:		

「svscimprovider」が表示されていない場合は、『ServerView ESXi CIM Provider VMware vSphere 5 インストールガイド』を参照し、ServerView ESXi CIM Provider をインストール してください。

■ 有効化確認

vSphere Client で ServerView ESXi CIM Provider が有効になっていることを確認します。

- 1. vSphere Client を起動し、ホストに接続します。
- 2. インベントリ画面の[構成]タブで、[ソフトウェア]欄の[詳細設定]をクリックします。

3. 以下の画面で[UserVars]を選択し、[UserVars.CIMvmw_svscimproviderProviderEnabled]の値を 確認します。

DataMover	*	Enable or dis	ablethe CIM vmw	_Isiprovider provid	er		
- Digest		最小:	0	最大:	1		
DirentryCache		UserVars.CIM	1vmw_pciProviderE	nabled			_
- Disk - FSS		CIM ymw, po	・プロバイガを右かっ	またけ無効にする		1	
- FT		en viiw_pe	· / D/ H / Z/H/M				
- HBR		最小:	0	最大:	1		
LPage		UserVars.CIN	1vmw_sfcbrInterop	ProviderEnabled			3
- LSOM		CIM vmw_sfo	:brInterop プロバイ	ダを有効または無効	はします	,	
Migrate		- 最小・	0	最大・	1		
Misc		400.1.1		4007 (*	-		
- NFS		UserVars.CIN	1vmw_svscimprovid	lerProviderEnabled			
- Numa		Enable or dis	ablethe CIM vmw	_svscimprovider pr	ovider		
- Power		最小:	0	最大:	1		
- RdmFilter	=	UserVers CD		las Taskiad			
- ScratchConing - Scsi		Uservars.CIM	ivmw_swingtProvid	ierenabieu			
SE		CIM vmw_sw	/mgt プロバイダを有	前効または無効にする	5		
- SunRPC - SvMotion		最小:	0	最大:	1		
Syslog		UserVars.CIN	1vmw viProviderEn	abled			
User		CTM umuu ui	ー プロバイガを右効ま	たけ無たにする		J	
VMFS		CIM VIIIW_VI	ノロバログで有効は	1cta (# 20112 9 20			
VMFS3		最小:	0	最大:	1		
XvMotion		UserVars.CIM	1WatchdogInterval				6(

図 2-93 詳細設定

4. [ファイル]メニュー→[終了]をクリックし、vSphere Client を終了します。

2.4.5 管理情報・構成情報の保存

管理情報・構成情報の保存については、『導入マニュアル』の「5.7 管理情報・構成情報の保存」 を参照してください。

2.4.6 セキュリティの設定

セキュリティの設定については、以下を参照してください。

▶ MMB上の設定

『導入マニュアル』の「7.5 セキュリティの設定」

▶ VMware 上の設定 VMware 社のマニュアル

3 仮想マシンの構成

VMware vSphere Client を利用して、仮想マシンを構成します。

3.1 仮想マシンの作成

3.1.1 データセンターの作成とホストの追加

VMware Web Client から vCenter Server にアクセスし、ゲスト仮想マシン用のインベントリ設定 を行います。

備 考 ____

ホストと管理サーバが起動し、ネットワーク接続が確立した状態で作業してください。

- 管理クライアント PC でブラウザ(本書では Internet Explorer)を起動し、以下の URL に接続します。
 https://< 管理サーバ名>.<DNS サフィックス>:9443/vsphere-client
- 2. [この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。]という画面が表示された場合、[このサ イトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックします。
- 3. ログイン画面で管理サーバのユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

vm ware [.]	
ユーザー名: Administrator	VMware vSphere Web Client
バスワード: ******	
ログイン	
ヘルブ	

図 3-1 Web Client ログイン

PRIMEQUEST 1000 シリーズ かんたん構築ガイド(VMware 編)

4. Web Client の[ホーム] 画面左側で[vCenter]を選択します。



図 3-2 Web Client 初期画面

5. [vCenter ホーム]画面左側で、[インベントリツリー]→[ホストおよびクラスタ]をクリックします。



図 3-3 vCenter ホーム

6. 画面左側の管理サーバ名を選択した状態で、[アクション]→[新規データセンター]をクリックします。
| vmware [®] vSphere Web C | ient 🔒 🗗 | | | 15:25 | に更新 🖸 Adm |
|-----------------------------------|-------------|--|----------------------------------|----------------|---------------|
| vCenter 👻 🃮 | 🕑 VMMANAGE | アクション マ | | | |
| | はじめに サマリ | 🙋 アクション - ' | VMMANAGE | | |
| ♥ 🖓 VMMANAGE > | 設定
アラーム定 | 新規デーダ 新規フォル OVF テンプ OVF ランプ | センター
ダ
レートのデプロイ
キーの割り当て | バイダ スケジュー; | ル設定タスク |
| | 全般 | る タグの割り当 | ¥Т | 予想される必要が | 。容量: 14.32 GB |
| | ライセンス | アラーム | | vCenter Server | 名: VMMANAGE |
| | 今日のメッセー | すべての v | Center アクション | ▶ 60秒のタイムア | ウト |
| | 計補助設定 | | * メール | - | |
| | | | ▶ SNMP レジーバ | | |
| | | | ポート | HTTP:80 | HTTPS: 443 |
| | | | タイムアウト設定 | 標準:30 | 長い:120 |
| | | | ログ機能のオブション | info | |
| | | | ▶ データベース | 最大接続数:50 | 1 |
| | | | SSL設定 | vCenter Server | には検証済みの SSL |

図 3-4 新規データセンター選択

7. データセンター名を設定します。

🊹 新規データセン	<u>ب</u> ه - الأ
データセンター名:	Datacenter
場所:	🕝 VMMANAGE
	OK キャンセル

図 3-5 データセンター名設定

8. 作成したデータセンター名を選択した状態で、[アクション]→[ホストの追加]をクリックします。

[ホストの追加] ウィザード画面が表示されます。

vmware [®] vSphere Web Cli	ent 🔒 🖗	 15:25 ご更新 Ŭ Administrato
VMWare vSphere Web Cli VCenter	ent ↑ 2 Datacenter アクション * IdUoic サマリ アクション - Datacenter オマレの追加 1 データセン ホストとは、EI ウェアを使用し ジ 新規のラスタ 2 ホストの追加 2 新規のラスタ 3 新人いりあtributed Switch ホストとは、EI ウェアを使用し ジ のVF テンプレートのデブロイ ビュータです。 すると、そのホ ムで管理される ESXまたは ES ビュータが必要 ウェアがない場 は、VMware の い。 ホストを追加す オペての VCenter アクション クシェククトワーク	15:25 に更新 し Administrato
	する必要かめります。 vSphere Cliu	vCenter Server ent

図 3-6 ホストの追加選択

9. [名前と場所]画面で、使用するホストの名前または IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

1 ホストの追加		?	*
1 名前と場所	vCenter Server IC追	加するホストの名前または IP アドレスを入力します。	
2 接続設定	ホスト名または IP:	vmware01	1
3 ホスト サマリ	場所:	Datacenter	-
4 仮想マシンの場所			
5 終了準備の完了			
			ľ
		戻る 次へ 終了 キャンセノ	

図 3-7 名前と場所

10. [接続設定]画面で、ホストのユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

1 ホストの追加	3 *
 ✓ 1 名前と場所 2 接続設定 3 ホスト サマリ 4 仮想マシンの場所 5 続了準備の完了 	ホストの管理アカウント情報を入力します。vSphere Web Client はこの情報を使用してホストに接続し、その操作用の固定アカウントを設 定します。 ユーザー名: root パスワード: *******
	戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-8 接続設定

11. [セキュリティアラート]画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。



- 12. [ホストサマリ]画面で、内容を確認し、[次へ]をクリックします。
- 13. [ライセンスの割り当て]画面で、[新しいライセンスキーを割り当てる]を選択し、ホストのライセンスキ

🔋 ホストの追加		? ₩
 ✓ 1 名前と場所 ✓ 2 接続設定 ✓ 3 ホスト サマリ ✓ 4 ライセンスの割り当て 5 ロックダウンモード 6 仮想マシンの場所 7 終了進価の当て 	「新しいライセンス キーを割り当てる ▼	
	 ライセンスキー: ホストの詳細 ライセンスキーの詳細 2 	٩ ~ ٢ ⁴
	CPUの合計: 2 製品: - (規想マシンの総款: 0 容量/使用可能: - CPUごどの最大コア数: 10 2次容量/使用可能: - 資産ごどの最大 CPU数: 2 有効期限: - ラベル: - -	
	展3 次へ 終了 :	キャンセル

図 3-10 ライセンスの割り当て

14. [次へ]をクリックします。

ーを入力します。

- 15. [ロックダウンモード]画面で、[次へ]をクリックします。
- 16. [仮想マシンの場所]画面で、データセンターを選択し、[次へ]をクリックします。

🔋 ホストの追加	0 ()
 1 名前と場所 2 接続設定 3 ホスト サマリ 4 ライセンスの割り当て 5 ロックダウン モード 6 仮想マシンの場所 7 終了準備の完了 	Q 検索 ▶ ■ Datacenter
	戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-11 仮想マシンの場所

17. [終了準備の完了]画面で、内容を確認し、[終了]をクリックします。

データセンターの配下に追加したホストが表示されます。

🔋 ホストの追加	1 ホストの追加			
✓ 1 名前と場所	名前	vmware01		
✓ 2 接続設定	バージョン	VMware ESXi 5.1.0 build-838463		
✔ 3 ホストサマリ	ライセンス キー	9461N-L8LEQ-J8841-03AAK-ARRPM		
 ✓ 4 ライセンスの割り当て ✓ 5 ロックダウンチッド 	ネットワーク	test01 仮想マジンネットワーク_test		
 ◆ 6 価相マシンの場所 	データストア	datastore1		
 ✓ 7 終了進備の完了 	ロックダウン モード	無効		
	仮想マシンの場所	Datacenter		
		戻る 次へ 終了 年+ンセ	211	

図 3-12 終了準備の完了

3.1.2 仮想マシンの作成

ホストの配下に新規仮想マシンを作成します。

 Web Client の[インベントリツリー]→[ホストおよびクラスタ]画面で、仮想マシンを作成するホスト選 択し、[アクション]→[新規仮想マシン]をクリックします。

[新規仮想マシン] ウィザード画面が表示されます。



図 3-13 ホスト選択

2. [作成タイプの選択]画面で、[新規仮想マシンの作成]を選択し、[次へ]をクリックします。



図 3-14 作成タイプの選択

3. [名前とフォルダの選択]画面で、作成する仮想マシンの名前を入力し、データセンターを選択した状態で[次へ]をクリックします。

1	新規仮想マシン	(?)»	
 • • 	 新規仮想マシン 1 作成タイブの選択 1 年成タイブの選択 2 設定の編集 2 設定の編集 2 名前とフォルダの選択 2 ストレージの選択 2 ストレージの選択 2 4 互換性の選択 2 4 互換性の選択 2 6 ゲスト OSを選択 2 1 パードウェアのカスタマイズ 3 終了準備の完了 	⑦ P 使想マシンの名前を指定してください。 (期の1 (想想マシン名には最大 80 文字指定できますが、各 vCenter Server (説想マシン フォルダ内で一意の名前にする必要があります。 この仮想マシンの場所を選択してください。 ● Datacenter ● Datacenter 新しい仮想マシンのデータセンターまたは仮想マシン フォルダの場所を選択してください。	

図 3-15 名前とフォルダの選択

4. [計算リソースの選択]画面で、仮想マシンを作成するホストを選択し、[次へ]をクリックします。

🎦 新規仮想マシン		44 (S)
 1 作成タイブの選択 1a 作成タイブの選択 2 設定の編集 2a 名前とフォルダの選択 2b 計算リソースの選択 2c ストレージの選択 2d 互換性の選択 2e ゲスト OSを選択 2f パードウェアのカスタマイズ 3 終了準備の完了 	Q 検索 ▼ Datacenter Vmware01	クラスタ、ホスト、vApp またはリソース ブールを選択して、この仮 想マシンを実行します。
	互換性: ● 互換性チェックは成功しました。	
		戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-16 計算リソースの選択

5. [ストレージの選択]画面で、仮想マシンを保存するストレージを選択し、[次へ]をクリックします。

🚹 新規仮想マ:	シン						(4 €
 1 作成タイ: ✓ 1a 作成タ 2 設定の編集 	ゴの選択 イブの選択	仮想マシン ストレージ プロファ 次のデータストアには、選択した。 ータストアを選択してください。	・イル: なし ターゲットリソースからア	クセスできます。仮想マジ	 ・ ・ ンの構成ファイルと 	すべての仮想ディス	クのターゲット デ
 ✓ 2a 名前と ✓ 2b 計算り ✓ 2c ストレ 2d 互換性 2e ゲスト 2f パード^ド 3 絵7準備c 	フォルダの選択 ソースの選択 - ンの選択 の選択 OSを選択 ウェアのカスタマイ の完了	 3前 ■ Datastore ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1) ■ Catage (1	音量 131.25 GB 	プロビジョニング済み 971.00 MB	空き宿童 130.30 GB	오 47 VMFS 5	オレージ DRS
				(戻る)	次へ	(キャンセル)

図 3-17 ストレージの選択

6. [互換性の選択]画面で互換性を持たせる VMware のバージョン(例では ESXi5.1 以降)を選択し、 [次へ]をクリックします。

_			
1	新規仮想マシン		(?) ♦
™ ✓ ✓ ✓ ✓	 新規仮想マシン 1 作成タイブの選択 1a 作成タイブの選択 2 設定の編集 2a 名前とフォルダの選択 2b 計算リソースの選択 2c ストレージの選択 2c ストレージの選択 2d 互換性の選択 2e ゲスト OSを選択 2f パードウェアのカスタマイズ 3 終了準備の完了 	ホストまたはクラスタは複数の VMware 仮想マシンのパージョンをサポートしています。仮想マシンの互換性を選択してください。 互換対象: ESX 5.11以降 ▼ ① この仮想マシン (VM パージョン 9)は、最適なパフォーマンスと ESXI 5.1 の最新機能を提供します。	** •
		展5 次へ 終7 年	,

図 3-18 互換性の選択

 [ゲスト OS を選択]画面で、仮想マシンにインストールする OS とバージョン(画面では Windows Server 2008 R2)を選択し、[次へ]をクリックします。

🎦 新規仮想マシン					? ▶
1 作成タイブの選択	ゲスト OS をここで特定す	ると、ウィザードで、そのオペレーティング システムのインスト	・ールに適したデフォル	小値が入力されます。	
✓ 1a 作成タイブの選択					
2 設定の編集	ゲスト OS ファミリ:	Windows		•	
✓ 2a 名前とフォルダの選択	ゲスト OS バージョン:	Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット)		•	
✓ 2b 計算リソースの選択					
✔ 2c ストレージの選択					
✓ 2d 互換性の選択					
✔ 2e ゲスト OSを選択					
2f ^{ハードウ} ≭アのカスタマイ					
3 終了準備の完了					
			互換性:	: ESXi 5.1 以降 (VM バージョ	ン9)
			戻る 次へ	終了 年や 2	121J

図 3-19 ゲスト OS を選択 (Windows Server 2008 R2 の例)

8. [ハードウェアのカスタマイズ]画面で、仮想マシンで使用する vCPU 数、仮想メモリ容量、ハードディス

ク容量、ネットワークなどを確認、設定し、[次へ]をクリックします。

1	新規仮想マシン						(?) ₩
	1 作成タイプの選択	仮想ハードウェア 仮想マシ	ンオブション SDRS ルー	V			
~	1a 作成タイプの選択	▶ 🔲 CPU	1	0			
	2 設定の編集	▶ 画 メモリ	4096	MB V)		
~	2a 名前とフォルダの選択	、 「 新担い」とディフク	40)		
~	2b 計算リソースの選択		40)		
~	2c ストレージの選択	▶ 💁 新規 SCSIコントローラ	LSI Logic SAS				
~	2d 互換性の選択	▶ 🔜 新規ネットワーク	test01		│ ☑ 接続		
~	2e ゲスト OSを選択	▶ 🍥 新規 CD/DVD ドライブ	クライアント デバイス		┃ □ 接続…		
	2f ハードウェアのカスタマイ ズ	▶ 📑 新規フロッピードライブ	クライアント デバイス	-	┃ 🗌 接続		
	3 終了準備の完了	▶ 🛄 ビデオ カード	カスタム設定の指定	▼)		
		▶ 🌼 VMCI デバイス					
		▶ その他のデバイス					
		新規デバイス:			ntêji		
			ABLUX		7	互換性: ESXi 5.1 以降 (VM)	バージョン 9)
					戻る	(次へ) 終了	キャンセル

図 3-20 ハードウェアのカスタマイズ

9. [終了準備の完了]画面で、設定内容を確認し、[終了]をクリックします。

🎦 新規仮想マシン		?
1 作成タイブの選択	プロビジョニング タイプ:	新規仮想マシンの作成
✓ 1a 作成タイプの選択	仮想マシン名:	win01
2 設定の編集	フォルダ:	Datacenter
✓ 2a 名前とフォルダの選択	ホスト:	vmware01
✓ 2b 計算リソースの選択	データストア:	Datastore
✓ 2c ストレージの選択	ゲスト OS 名:	Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 분ット)
✓ 2d 互換性の選択	CPU:	1
✔ 2e ゲスト OSを選択	メモリ:	4 GB
✓ 2f ハードウェアのカスタマイ	NIC:	1
✓ 3 終了準備の完了	NIC 1 ネットワーク:	test01
	NIC 1 タイプ:	E1000
	SCSI=>>FD-5 1:	LSI Logic SAS
	ハード ディスク1の作成:	新規仮想ディスク
	容量:	40.00 GB
	データストア:	Datastore
	仮想デバイスノード:	SCSI(0:0)
	モード:	依存型
		互換性: ESXI 5.1 以降 (VM バージョン・
		戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-21 終了準備の完了

続けて、「<u>3.2 ゲストOSのインストール</u>」を参照し、ゲストOSのインストールを行ってください。

3.2 ゲストOSのインストール

「<u>3.2.1インストールメディアの準備</u>」のあと、インストールするOSに合わせて手順を参照してください。

- Windows Server 2008 : 「<u>3.2.2 Windows Server 2008のインストール</u>」
- RHEL 6: 「<u>3.2.3 RHEL6のインストール</u>」

3.2.1 インストールメディアの準備

ゲスト OS のインストールに使用するメディアを、管理クライアント PC で使用できるよう準備します。

インストールメディアの種類や入手方法については、「<u>1.2 メディアの準備</u>」を参照してください。

3.2.2 Windows Server 2008 のインストール

仮想マシンに Windows Server 2008 と VMware Tools をインストールします。

■ Windows Server 2008 のインストール

1. 作成した仮想マシンを起動します。

1. Web Client のインベントリツリー画面左側でインストールを行うゲスト OS を選択します。

2. [アクション]→[パワーオン]をクリックします。



図 3-22 仮想マシンパワーオン

2. [アクション]→[コンソールを開く]をクリックします。

コンソール画面が開きます。

ポップアップがブロックされた場合は、ポップアップを許可後、再度本手順を行ってください。

vmware [®] vSphere Web Cli	ent 🔒 🗗	ల	Administrator@VMMANAGE - ヘルプ・
vCenter 💌 I	🚯 win01 マク	ション *	E*
VMMANAGE	iacionic 🕴 🎰	アクション - win01 コンソールを開く	
✓ ☐ Datacenter ✓ ☐ vmware01	仮想マシン ●	パワーオン ゲスト OS のシャットダウン	
🚮 win01 💦	オペレッラ ⁽¹⁾ ションを見 <u>品</u> です。 伝林	ゲスト OS の再起動 移行 …	Virtual I
	レーティン 🐼 レーティン 🏠	スナップショットの作成 現在のスナップショットまで戻る	Cluster
	なり。 仮想マシン部	スナップショットの管理 クローン作成	
	タ環境です デスクト・ として、ま	設定の編集 移動先	
	り、サー) たりできま	名前の変更 タグの割り当て	Datacenter
	vCenter S またはクラ ストで多数	75-4	vCenter Server
		すべての vCenter アクション	

図 3-23 コンソール画面表示

3. ブラウザでコンソール画面を選択し、「Operating System not found」のメッセージが表示されることを 確認します。



図 3-24 コンソール初期画面

4. ブラウザでインベントリツリー画面に戻り、[アクション]→[設定の編集]をクリックします。



図 3-25 設定の編集選択

5. [CD/DVDドライブ 1]をクリックして開き、[デバイスモード]を[エミュレート IDE]に設定します。

♪ win01 - 設定の編集	2 *	?₩
仮想ハードウェア 仮想マシ	ンオブション SDRS ルール VApp オブション	
→ 🔲 CPU	1 0	
▶ 編 メモリ	4096 v MB v	
▶ 🔜 ハード ディスク 1	40 GB 🔻	
▶ 6 SCSI コントローラ 0	LSI Logic SAS	
▶ 國 ネットワーク アダプタ 1	test01	
▼	クライアント デバイス	
ステータス	□ パワーオン時に接続	
CD/DVD メディア	接続するコは、仮想マシンをパワーオンし て、「仮想マシンのサマリ」タブのハードウェ ア バネルからメディアを選択します。	
デバイス モード	エミュレート IDE 🛛 🔹	
仮想デバイスノード	IDE(1:0) CD/DVD ドライブ1 ▼	
🕨 🗖 フロッピー ドライブ 1	クライアント デバイス	
▶ 🜉 ビデオ カード	カスタム設定の指定	
▶ 🌼 VMCIデバイス		
▶ その他のデバイス		
新規デバイス: (選択 達加	
互換性: ESXi 5.1 以降 (VM バ	ージョン 9) OK	キャンセル

図 3-26 設定の編集

6. [OK]をクリックします。

7. [サマリ]タブの[仮想マシンのハードウェア]欄で[CD/DVD ドライブ 1]右側の[✔]をクリックしま す。

以下の画面が表示された場合は、[Allow]をクリックします。

Client Integration Access Control						
This site is using VMware Client Integration Plug-In. Do you want to allow it to access your operating system?						
Protocol: https:						
Hostname: 11 201 mil 2027						
Port: 9443						
Allow Deny (automatic in 1 seconds)						
Always ask before allowing this site						
The VMware Client Integration Plug-In will give web applications and remote VMs access to your operating system. Only allow sites you trust.						

⊠ 3-27 Client Integration Access Control

8. 仮想 OS 用インストールメディアをセットしたドライブ(例では E ドライブ)をクリックし、メディアを接続します。

[CD/DVD ドライブ1]が[接続中]に変わります。

vmware vSphere Web Cl	ient 🔒 🕼	ا ن	Administrator@VMMANAGE - I ヘルプ - I 🕙
vCenter 🔹 I	🚯 win01 マクション 🍷		E.
	はじめに サマリ 監視 管	管理 関連オブジェクト	· ·
✓ VMMANAGE ✓ Im Datacenter ✓ Im vmware01 ✓ win01 >	work for the Mar 1989 We want of the Mar 2010 And	win01 ガスト OS: 互換性: VMware Tools: DNS名: Pアドレス: ホスト:	Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット) ESX 51 以降 (VM ージョン 9) 案行していません (イ ンストールされていま せん) vmware01
	▲ VMware Tools か_の彼	想マンノニイノストール	Crit((1 viiware tools 0.4 シストンパ::: □ ▼ 仮想マシンストレージラ
	► CPU	1個の CPU、0 MHz 使	用の想マシンストレージプロ
	▶ メモリ	4096 MB, 245 MB	使用 プロファイルのコンプライア: マイタ
	▶ ハードディスク1	40.00 GB	最終確認日
	▶ ネットワークアダプタ1	test01 (接続中)	
	◎ CD/DVD ドライブ1	切断状態	A4-
	🕞 フロッピー ドライブ 1	切断状態	"E:"への接続
	▶ ビデオカード	8.00 MB	"F:"への接続
	▶ その他	追加ハードウェア	
	互換性	ESXi 5.1以降 (VM バー	ローカル ティスクの CD/DVD イメージに接続 データストアの CD/DVD イメージに接続

図 3-28 ドライブの選択

9. コンソール画面で[Ctrl+Alt+Delete の送信]をクリックします。

仮想マシンが再起動し、Windows Server 2008 のインストールメディアが起動されます。

10. 画面の指示に従ってインストールを実行します。

コンソール画面上をクリックすると、仮想マシン上の入力が可能になります。 インストール中、数回再起動します。

- 11. インストールが完了したら、インストールメディアを切断します。
 - 1. [Ctrl]+[Alt]キーを押して、入力対象をコンソール画面からクライアント PC に戻します。
 - 2. [サマリ]タブの[仮想マシンのハードウェア]欄で[CD/DVDドライブ 1]右側の[♪]→[切断] をクリックします。

[CD/DVDドライブ 1]が[切断状態]に変わります。

vCenter 🔻	🔂 win01 アクション 🔻			
17 🖻 🗉 🧕	はじめに サマリ 監視	管理 関連オブジェクト		
 ✓ VMMANAGE ✓ □ Datacenter ✓ □ vmware01 ✓ I wmo1 > 	Control Data State Control Data Control D	win01 ゲスト OS: Micro 2008 互換性: ESX1 ン 9) VM ware Tools: 実行 トーノ DNS名: IP アドレス: ホスト: Vmww	osoft Windows Server IR2 (64 ビット) 5.1 以降 (VM パージョ) していません (インス ルされていません)	CPU使用率 0 HZ マログロ 245 MB ストレージ使用率 44 GB
		A		
	A VMware Tools がこの	レッシンにインストールされて	ていません。 VMware	Tools のインストール
	▲ VMware Tools がこの ・ 仮想マシンのハード	仮想マシンにインストールされて ウェア	ていません。 VMware	Toolsのインストール ンストレージブロファー
	▲ VMware Tools がこの ・ 仮想マシンのハード ト CPU	仮想マシンにインストールされて フェア 1個の CPU、0 MHz使用	ていません。 VMware □ ・ 仮想マシ 仮想マシン	Tools のインストール ンストレージ プロファ・ ・ストレージ プロファイル
	 ▲ VMware Tools がこの: ● 仮想マシンのハードご ▶ CPU ▶ メモリ 	仮想マシンにインストールされて ウェア 1個の CPU、0 MHz 使用 4096 MB、245 MB 使用	 てしません。 VMware ロ 仮想マシン プロファイ) 	Tools のインストール ン ストレージ ブロファ ・ ¹ ストレージ ブロファイル レのコンプライアンス
	 ▲ VMware Tools がこの 仮想マシンのハードで > CPU > メモリ > ハードディスク1 	仮想マシンバニインストールされて フェア 1個の CPU、0 MHz 使用 4096 MB、245 MB 使用 40.00 GB	 ていません。 VMware 仮想マシン ブロファイ) 最終確認E 	Tools のインストール ン ストレージ プロファ・ ・ ストレージ プロファイル ルのコンプライアンス 3
	 ▲ VMware Tools がこの 仮想マシンのハードで > CPU > メモリ > ハードディスク1 > ネットワークアダブタ1 	仮想マシンにインストールされて フェア 1個の CPU、0 MHz 使用 4096 MB、245 MB 使用 40.00 GB test01 (後続中)	CL はせん。 VM ware の (仮想マシン プロファイ) 最終確認E	Tools のインストール ン ストレージ プロファ イル ・ストレージ プロファイル ルのコンプライアンス 3
	 VMware Tools がこの 仮想マシンのハードで CPU メモリ ハードディスク1 ネットワークアダブタ1 OCDVDドライブ1 	仮想マシンにインストールされて フェア 1個の CPU、0 MHz 使用 ↓ 4096 MB、245 MB 使用 40.00 GB test01 (接続中) 接続中	CL iません。 VM ware の (仮想マシン プロファイ) 最終確認E	Tools のインストール ン ストレージ プロファ・ マストレージ プロファイル ルのコンプライアンス 3
	▲ VMware Tools がこの ・ 仮想マシンのハードロ ・ CPU ・ メモリ ・ ハード ディスク1 ・ ネットワーク アダブタ1 ● CD/DVD ドライブ1 ■ フロッピードライブ1	版想マシン/こインストールされて フェア 1個の CPU、0 MHz 使用 4096 MB、245 MB 使用 40.00 GB test01 (格続中) 接続中 切断状態	CL はせん。 VM ware ・ 仮想マシ ・ 仮想マシ ゴロファイ) 最終確認E ・ 切断	Tools のインストール ンストレージ プロファイル ・ストレージ プロファイル しのコンプライアンス 3
	▲ VMware Tools がこの ・ 仮想マシンのハードワ ・ CPU ・ メモリ ・ ハード ディスク 1 ・ ネットワーク アダブタ 1 ● CD/DVD ドライブ 1 ● CD/DVD ドライブ 1 ・ ビデオ カード	版想マシン/エインストールされて フェア 1個の CPU、0 MHz 使用 4096 MB、245 MB 使用 40.00 GB test01 (接続中) 接続中 切断状態 8.00 MB	CL はせん。 VM ware ・ 仮想マシ 「の想マシン ブロファイ) 最終確認E ダ・ 切助所 - 塩石られた3	Tools のインストール ンストレージ ブロファイル レのコンプライアンス 3 かテコリ エのリストは空です
	▲ VMware Tools がこの ・ 仮想マシンのハードで ・ CPU ・ メモリ ・ ハード ディスク 1 ・ ネットワーク アダブタ 1 ● CD/DVD ドライブ 1 ● CD/DVD ドライブ 1 ● プロッピー ドライブ 1 ・ ビデオ カード ・ その他	仮想マシン/こインストールされて 「個の CPU、0 MHz 使用 ↓ 4096 MB、245 MB 使用 40.00 GB test01 (持続中) 接続中 切断状態 8.00 MB 這カルハードウェア	CL はせん。 VM ware ・ 仮想マシ 少 の想マシン プロファイ) 最終確認E ダ・ な坊 の別所 ・ な巧	Tools のインストール シストレージ ブロファイル レのコンプライアンス 3 ガテコリ このリストは空です

図 3-29 ドライブの選択

■ VMware Tools のインストール

1. 対象の仮想マシンを右クリックし、[アクション]→[すべての vCenter アクション]→[ゲスト OS]→ [VMware Tools のインストール/アップグレード]をクリックします。

vmware vSphere Web Cl	ient 🔒 🖉	ى	Administrator@VMMANAGE → へ)	レブ・	Q 検索 →
vCenter 🔽	🚯 win01 アクション *			=*	
VIMANAGE	はじめに す ペックション ・ コンソート ・ コンソート ・ コンソート ・ コンソート ・ コンソート ・ コンソート ・ オント OK ・ オン	- win01 レを閉く シ 3 のシャットダウン 3 のシャットダウン 5 のう再起動 / コットの作成 ナップショントまで買る オョントの管理 年成 集 軍	t Windows Server (Gビット) いません(インス れていません) はせん。 VMware Tools のインストール ・ 仮想マシンストレージブロファ・	1	 ● 営 最近のタスク すべて 実行中 失敗 ◆ 仮想マシンの再構成 ● win01 ◆ 仮想マシンのパワーオン ● win01
	 ・ CPU ・ メモリ ・ ハード ・ カード ・ オット・ ・ オット・ ・ オット・ ・ マイエの ・ マイエの 	リ当て VCenter アクション Lesio1 ()おんちり よび	 電源 ゲスト 0S スナップショット 第 行… ア クローン作成… デンプレート ド2番 デー かのエクフォート 	質 学コ ジク VI VMw	間への回答 ンノールを閉く ライアント統合ブラジインのダウンロ Aware Tools のインストールパッゴ Aware Tools インストーラのアック are Tools のインストールパップグレード
	 ▶ ビデオカード ▶ その他 互換性 * 詳編構成 	8.00 MB 注加 ハードウェア ESXI 5.1 以降 (VM バージョン 酸定の8	Fault Tolerance ・ リソラース設定の編集 ・ マルデンプレートのエクスポート 、 ストレージプロファイル ・ 互換性 ・		・ [●] アラーム □ すべて 新規(1) 確認済
	EVCモード 該当なし * メモ		カスタム属性 メモの編集… インペントリからの除去 ディスクから削除 授定の編集…		▲ VMMAYUNGE 健全性ステータスの監視

図 3-30 VMware Tools のインストール/アップグレード

2. [VMware Tools のインストール] 画面で[マウント]をクリックします。



図 3-31 VMware Tools のインストール

3. コンソール画面で CD/DVD ドライブの「setup64.exe」を実行します。

4. 以下の画面で[次へ]をクリックします。



図 3-32 VMware Tools のインストールウィザードへようこそ

5. [セットアップタイプ]画面で[標準]を選択し、[次へ]をクリックします。



図 3-33 セットアップタイプ

6. [プログラムのインストール準備]画面で、[インストール]をクリックします。

インストールが開始されます。

🙀 VMware Tools	×
プログラムのインストール準備 ウィザードによるインストールの準備ができました。	vm ware [.]
インストール をクリックしてインストールを開始して	ください。
インストールの設定を確認または変更する場合() 場合は、「キャンセル」をクリックします。	は、「戻る」をクリックします。 ウィザードを終了する
<	戻る (B) インストール (D) キャンセル

図 3-34 プログラムのインストール

7. [インストールウィザードの完了]画面で、[終了]をクリックします。



図 3-35 インストールウィザードの完了

8. 以下の画面で[はい]をクリックします。

仮想マシンが再起動されます。

🔂 VMwa	re Tools	×
Ŀ	VMware Tools の構成変更を有効にするには、システムを 再起動する必要があります。すぐに再起動する場合は「は い」を、あとから再起動する場合は「いいえ」をクリックしてく ださい。	
	<u> はいか</u> いいえ い	

図 3-36 VMware Tools インストール後の再起動

9. [サマリ]タブで VMware Tools が「実行」状態であることを確認します。

vmware [®] vSphere Web Cl	ent 🕇 🗗 17:01に更新 🕐 Administrator@VMMANAGE + I ヘル	J .
vCenter 💌 🖡	is win01 アクション▼	=
	はじめに サマリ 監視 管理 関連オブジェクト	
✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	win01 CPU 使用率 ゲスト OS: Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 ビット) 0 HZ 互換性: ESXI5.1 以降 (VM バージョン 9) メモリ使用率 81 MB	•
, who i	バワーイン 第1つのis 第1つのis 第1つのis 第1つのis 第1つのis ストレージ使用率 レNS さ win01 IPアドレス: 169.254.666.214 Improvement 44 GB コンソールの起動 ホスト: vmware01 Improvement Improvement Improvement	

図 3-37 サマリ

■ インストール後の確認/設定

ネットワークなど、運用前に必要な設定を行ってください。

備考 _____

仮想マシンのファイアーウォールは無効に設定してください。

3.2.3 RHEL6 のインストール

- 1. 作成した仮想マシンを起動します。
 - 1. VMware vSphere Client のインベントリツリー画面でインストールを行う仮想マシンを選択します。
 - 2. [アクション]→[パワーオン]をクリックします。

vmware [®] vSphere Web Cl	ent 🔒 🕼	Ŭ Administrator@VMMANAGE → へ)
VCenter	 ⑦ rhel01 アクションマ はじめに サ ⑦ クション・rhel01 ジ コンソールを閉く ▶ 1/ワーオン □ グスト 08 のジャットダウン ○ ケスト 08 のジャットダウン 	Enterprise Linux 6 (64 ビット) 以降 (VM バージョン 9) いません (現在)
theor theory th	 シスト Good Phases 静行… む スナップショットの作成… (1) 現在のスナップショットまで戻る コンソール0 (1) スナップショットの管理… (2) ワローン作成… 	0 B ストレージ使用率 25 GB
	 仮想マ CPU メモリ ハードラ アラーム 	・ 仮想マシンストレージブロファイル 仮想マシンストレージブロファイル ブロファイルのコンブライアンス - 最終確認日
	・ ネットワークマン すべての vCenter アクション	•

図 3-38 仮想マシンパワーオン

2. [アクション]→[コンソールを開く]をクリックします。

コンソール画面が開きます。

ポップアップがブロックされた場合は、ポップアップを許可後、再度本手順を行ってください。

3. ブラウザでコンソール画面を選択し、「Operating System not found」のメッセージが表示されることを 確認します。



図 3-39 コンソール初期画面

4. ブラウザでインベントリツリー画面に戻り、[アクション]→[設定の編集]をクリックします。

5. [CD/DVDドライブ 1]をクリックして開き、[デバイスモード]を[エミュレート IDE]に設定します。

P rhel01 - 設定の編集	(°))
仮想ハードウェア 仮想マシ	ンオプション SDRS ルール vApp オプション
F 🔲 CPU	1 • 0
▶ 🌃 メモリ	2048 V MB V
▶ 🚍 ハード ディスク 1	25 GB 🔹
▶ 🛃 SCSI⊐ントローラ 0	VMware 準仮想化
▶ 🗾 ネットワーク アダプタ 1	test01 ✔ 接続中
▼	クライアント デバイス
ステータス	□ パワーオン時に接続
CD/DVD メディア	接続するには、仮想マシンをパワーオンし て、「仮想マシンのサマリ」タブのハードウェ ア バネルからメディアを選択します。
デバイス モード	III IDE
仮想デバイス ノード	[IDE(1:0) CD/DVD ドライブ1 ▼
🕨 🗖 フロッピー ドライブ 1	クライアント デバイス
▶ 📃 ビデオ カード	カスタム設定の指定
▶ 🌼 VMCIデバイス	
▶ その他のデバイス	
新規デバイス:	違択 ▼) 注言力ロ
互換性:ESXi 5.1以降 (VM バ	-ジョン 9) OK キャンセル

図 3-40 設定の編集

- 6. [OK]をクリックします。
- 7. [サマリ]タブの[仮想マシンのハードウェア]欄で[CD/DVD ドライブ 1]右側の[ダー]をクリックします。

以下の画面が表示された場合は、[Allow]をクリックします。

Client Integration Access Control							
This site is using VMware Client Integration Plug-In. Do you want to allow it to access your operating system?							
Protocol: https:							
Hostname: 11.21.00.21.00.							
Port: 9443							
Allow Deny (automatic in 1 seconds)							
✓ Always ask before allowing this site							
The VMware Client Integration Plug-In will give web applications and remote VMs access to your operating system. Only allow sites you trust.							

図 3-41 Client Integration Access Control

8. 仮想 OS 用インストールメディアをセットしたドライブ(例では E ドライブ)をクリックし、メディアを接続し

ます。

[CD/DVD ドライブ1]が[接続中]に変わります。



図 3-42 ドライブの選択

9. コンソール画面で[Ctrl+Alt+Delete の送信]をクリックします。

仮想マシンが再起動し、RHELのインストールメディアが起動されます。

10. 画面の指示に従ってインストールを実行します。

注意

コンソール画面上をクリックすると、仮想マシン上の入力が可能になります。

● パッケージグループの選択画面で、[仮想化ホスト]を選択しないでください。

- パッケージグループの詳細画面で、[仮想化] に含まれるパッケージは選択しないで ください。
- VMware Toolsを使用するため、GUI環境のパッケージ(X Window System、GNOME デスクトップなど)をインストールしてください。
- 11. インストールが完了したら、インストールメディアを切断します。
 - 1. [Ctrl]+[Alt]キーを押して、入力対象をコンソール画面からクライアント PC に戻します。
 - 2. [サマリ]タブの[仮想マシンのハードウェア]欄で[CD/DVDドライブ 1]右側の[♪]→[切断] をクリックします。

[CD/DVDドライブ 1]が[切断状態]に変わります。

- 12. コンソールのインストール完了画面で[再起動]をクリックし、仮想マシンを再起動します。
- 13. 再起動後、[ようこそ]画面で[進む]をクリックします。

▶ ようこそ ライセンス情報 ソフトウェア更新の設 定 ユーザーの作成 日付と時刻 Kdump	ようこそ システムが使用できるようになるまでもう少しステップがあります。セットアップ エージェントは、基本的な設定についてガイドしていきます。右下隅にある"進む" をクリックして、設定を継続します。
	戻る(B) 進む(E)

図 3-43 RHEL インストール後の設定―ようこそ

14. 画面の指示に従い、設定を完了させます。



15. 以下の画面で[OK]をクリックし、仮想マシンを再起動します。



図 3-44 RHELインストール後の設定―再起動

■ VMware Tools のインストール

 インベントリツリー画面で[アクション]→[すべての vCenter アクション]→[ゲスト OS]→[VMware Tools のインストール/アップグレード]をクリックします。

vmware [,] vSphere Web Cli	ient 🔒 🗗	U	U Administrator@VMMANAGE マート ヘルプ	- Ⅰ Q 検索
vCenter 💌 🖡	🚯 rhel01 マクション 🍷		E.	· ·
Image: Constraint of the second s	はじめに サ ● アクション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- rhel01 レを開く ン Sのシャットダウン Sの両起動	Enterprise Linux 6 (64 回 CPU 年用生 0 HZ 以降 (VM バージョン ズモリ 使用牢	 ● 最近のタスク ● すべて 実行中 失敗 ● 休息の
∰ win01	 おすご ステップジ ステップジ ステップジ リスロのス コンソールの () ステップジ ア クローン1 M VMwar() 設定の編 	/ヨットの作成 ナップショットまで戻る /ヨットの管理 作成 葉	いません (インス れていません) ストレージ 使用率 27 GB 11 ません。 VMware Tools のインストール	
	 仮想マ ・ CPU ・ メモリ ・ メモリ ・ アラーム 	運… J当て… 	 仮想マシンストレージブロファイJ 仮想マシンストレージブロファイル ブロファイルのコンプライアンス 	
	 ・ハート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	vCenter アクション ト feedb1 (Pace+)	* 電源 ・ *********************************	〒 マイ 3×0 ▼ 「ビリンス×」 質問への回答… コンソールを開く
	 マエッシュートライング ・ ビデオカード ・ その他 	メイ 8.00 MB 追加ハードウェア	 ・ 静称行… ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	クライアント統合ブラジインのダウンロ VMware Tools のインストール/アップ VMware Tools インストーラのアンマ Mware Tools のインストール/アップグレード.
	互换性	ESXI 5.1以降 (VM バージョン 設定の編	Fault Tolerance Full Tolerance	 ● アラーム □ すべて 新規(1) 確認済
	 ■ 詳細構成 EVCモード 該当なし 		ストレージブロファイル 互換性	 MMANAGE 健全性ステータスの監視
	* ¥E		カスタム属性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
			インベントリからの除去 ディスクから削除	

図 3-45 VMware Tools のインストール/アップグレード

2. [VMware Tools のインストール] 画面で[マウント]をクリックします。



図 3-46 VMware Tools のインストール

- 3. コンソール画面を表示し、仮想マシンに root アカウントでログインします。
- 4. VMware Tools の仮想 CD-ROM をマウントします。

mount -r /dev/cdrom /mnt

5. /tmp に移動します。

cd /tmp

6. VMware Tools のインストールファイルを解凍します。

tar zxpf /mnt/VMwareTools-*<バージョン>-<番号*>.tar.gz

7. 仮想 CD-ROM をアンマウントします。

umount /dev/cdrom

8. 以下のコマンドを実行し、VMware Tools のインストーラを起動します。

cd vmware-tools-distrib

./vmware-install.pl

- 9. 構成に関する各質問に対して、[Enter]キーを押してデフォルト値を設定し、インストールを完了させま す。
- 10. VMware vSphere Client の[サマリ]タブを選択し、VMware Tools が「実行中」であることを確認しま す。

vCenter	- I	🖧 rhel01	アクション	-				
	Q	はじめに	サマリ 監約	見 管理	関連オブジェク	4		
VMMANAGE Datacenter Totacenter Totacenter		*			rhel01 ゲスト 0S:	Red Hat Enterprise Linux 6 (64 ビット)		CPU 使用率 0 HZ
🚮 rhel01	>	1.1.1.1.*** 1.22.713			互換性:	ESXi5.1 以降 (VM バージョン 9)	-	メモリ 使用率 1 GB
🐴 win01		עיו	ーオン		VM ware Tools : DNS名 : IP アドレス :	実行中 (現在) rhel01 fe80::250:56ff:fea2:173d		ストレージ 使用率 27 GB

図 3-47 サマリ

- FJ-LSP のインストール
 - 1. 管理クライアント PC に、FJ-LSP のインストールメディアをセットします。
 - [サマリ]タブの[仮想マシンのハードウェア]欄で[CD/DVD ドライブ 1]右側の[[▲]]をクリックし、
 FJ-LSP のインストールメディアを仮想マシンに接続します。
 - 3. 接続したメディアを仮想マシンにマウントします。



 カレントディレクトリがメディアをマウントした場所でないことを確認してから、メディア内の fj_lsp_start.sh を実行します。

sh /media/fj_lsp_start.sh

5. FJ-LSP の適用を開始します。

富士通ミドルウェア向け OS パッケージのインストール要否を確認するメッセージが表示され ます。富士通ミドルウェアを使用する場合は、[y] キーを押します。

os package for fujitsu middleware install ? [y/n]::y

その後、kernel-debuginfo CD および RHEL インストール DVD の挿入メッセージが順次表示 されるので、表示されるメッセージに合わせて CD/DVD のイメージファイルを接続したあと、 任意のキーを押してください。

6. 以下の完了メッセージが表示されることを確認します。

apply	completed.								
/tmp/ (<i><pii< i=""></pii<></i>	fj_lsp_tmp. >には数字がフ	<i><pid></pid></i> i 入ります。	is)	no	more	needed,	please	delete	it.

備考

メッセージが表示されていない場合は、『Linux ユーザーズマニュアル』を参照し、 エラーメッセージに従った対処をしてください。

7. 以下のコマンドを入力し、インストールメディアをアンマウントします。

umount /dev/cdrom

- 8. [サマリ]タブの[仮想マシンのハードウェア]欄で[CD/DVDドライブ 1]を切断状態にします。
- 9. 以下のコマンドを入力し、/tmp/fj_lsp_tmp. <PID> を削除します。

rm -rf /tmp/fj_lsp_tmp.<PID>

10. システムを再起動します。

/sbin/shutdown -r now

■ インストール後の確認/設定

ネットワークなど、運用前に必要な設定を行ってください。

その際、以下の点にご留意ください。

- 仮想マシンのファイアーウォールは無効に設定してください。
- sadump は仮想上では動作しないので、設定は不要です。
- 時刻同期の同期先サーバは、ハイパーバイザを指定してください。

3.3 管理ツールのインストール

管理ツールのインストールについて説明します。

サーバ監視の留意事項については、『VMware vSphere 5 におけるサーバ監視の留意事項』を参照して ください。

3.3.1 ServerView RAID Managerのインストール

ゲスト OS の 1 つに、Server View RAID Manager をインストールします。 インストール方法などの詳細は、『Server View RAID Manager VMware vSphere ESXi 5 インス トールガイド』を参照してください。

3.3.2 SVmcovmのインストール

ゲスト OS の 1 つに、SVmcovm をインストールします。 インストール方法などの詳細は、『SVmco ユーザマニュアル』を参照してください。

3.3.3 SVOMのインストール

SVOM を使用した監視を実施する場合は、ゲスト OS の 1 つに SVOM (5.50-09 以降) をインスト ールします。

インストール方法などの詳細は、『ServerView Operations Manager 取扱説明書』を参照してください。

3.4 仮想マシンの展開

作成した仮想マシンのクローンを作成します。

本書では、RHEL をインストールした仮想マシンのクローンを作成します。

ブラウザの Web Client から vCenter Server にログインした状態で作業をしてください。

1. インベントリツリー画面でクローンを作成する仮想マシンを選択し、[アクション]→[クローン作成]をクリック

します。

[既存の仮想マシンのクローン作成] ウィザード画面が表示されます。

vmware [®] vSphere V	Neb Cl	ient 🔒 🗗 17:01 に更新	Ť 🖸 I Administrator@VMMANAGE 🕶 Ι ヘノ
vCenter	- 1	ቬ rhel01 アクション ▼	
VMMANAGE ✓ WMMANAGE ✓ Datacenter ✓ Umware01 frel01 win01	<u>@</u>	はじめに す	Enterprise Linux 6 (64 回 CPU 使用率 0 Hz 以降 (VM バージョン Xモリ使用率 月在) ストレージ使用率 2.56ff:fea2:173d)1
		コンソール (G) スナッジショットの管理	 ・ 仮想マシンストレージブロファイル の想マシンストレージブロファイル ブロファイルのコンブライアンス 最終確認日 ・ ・ ・

図 3-48 クローン作成選択

2. [名前とフォルダの選択]画面で、作成する仮想マシンの名前を入力し、[次へ]をクリックします。

🚏 rhel01 - 既存の仮想マシンのクロー	-Уfedg ? »
1 設定の編集	仮想マシンの名前を指定してください。
1a 名前とフォルダの選択	rhel02
1b 計算リソースの選択	仮想マシン名には最大 80 文字指定できますが、各 vCenter Server 仮想マシン フォルダ内で一意の名前にする必要があります。
1c ストレージの選択	この仮想マシンの場所を選択してください。
1d クローン オブションを選択 してください	
2 終了準備の完了	
	▶ ■ Unacenter 新しい仮想マシンのデータセンターまたは仮想マシンフォルダの 場所を選択してください。

図 3-49 名前とフォルダの選択

3. [計算リソースの選択]画面で、以下の操作をします。

1. 仮想マシンを実行するホスト(ESXi サーバ)を選択します。

2. [互換性:]に「検証が成功しました。」と表示されるのを確認し、[次へ]をクリックします。

Provide the image of the i	ン作成	(?)
 1 設定の編集 ✓ 1a 名前とフォルダの選択 ✓ 1b 計算リソースの選択 1c ストレージの選択 1d クローンオブションを選択 してください 2 終了準備の完了 	Q 検索 ▼ □ Datacenter ▶ ■ vmware01	クラスタ、ホスト、vAppまたJはリソース ブールを選択して、この仮 想マシンを実行します。
	互換性:	
		戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-50 計算リソースの選択

4. [ストレージの選択]画面で、使用するストレージを選択し、[次へ]をクリックします。

🚏 rhel01 - 既存の仮想マシンのクロー	ーン作成					? ₩
 1 設定の編集 ✓ 1a 名前とフォルダの選択 ✓ 1b 計算リソースの選択 ✓ 1c ストレージの選択 	仮想ディスク フォーマットを選択し 仮想マシン ストレージ ブロファイル 次のデータストアロは、選択したターグ ータストアを選択してください。	ます: ソースと同 >: なし *ットリソースからアク	で フォーマット セスできます。 仮想マシ	 ・ ・	べての仮想ディス。	フのターグット デ
1d クローン オブションを選択 してください 2 終了進備の二マ	名前 Ell Datastore	容量 131.25 GB	プロビジョニング済み 72.16 GB	空き容量 59.09 GB	요イプ VMFS 5	ストレージ DRS
- 1013 中小市の523						
	4					► ■ 記細 >>
	互換性: ② 互換性チェックは成功しました。					
				戻る)次	▲ 終了	++>セル

図 3-51 ストレージの選択

5. [クローンオプションを選択してください]画面で、[オペレーティングシステムのカスタマイズ]をチェックし、 [次へ]をクリックします。

Provide the image of the i	->作成 ⑦	**
 1 設定の編集 1a 名前とフォルダの選択 1b 計算リソースの選択 1c ストレージの選択 1c ストレージの選択 1d クローンオブションを選択 してください 1e ゲスト OSのカスタマイズ 終了準備の完了 	■ オペレーティングシステムのカスタマイズ ■ 仮想マシンのハードウェアのカスタマイズ (試験的) ■ 作成1後に仮想マシンをパワーオン	
	戻る 次へ 総7 年+ンセル	J

図 3-52 クローンオプションの選択

6. [ゲスト OS のカスタマイズ]画面で[次へ]をクリックします。

[新しい仮想マシンゲスト カスタマイズ仕様] ウィザード画面が表示されます。

7. [プロパティの指定]画面で、作成するカスタマイズ仕様の名前を入力し、[次へ]をクリックします。

🕞 新しい仮想マシン ゲスト カスタマイ	ズ仕様	(?	•• (
 ✓ 1 ブロバティの指定 2 コンビュータ名の設定 	新規カスタマイズ仕様 カスタマイズ仕様の名前を入力	し、ダーゲットの OS を選択します。	
3 タイム ゾーン 4 ネットワークの構成 5 DNSとドメイン設定の入力	ターゲット仮想マシンのオペ レーティング システム:	Linux ・ D カスダム Sysprep 応答ファイルの使用	•
6 終了準備の完了	カスタマイス仕様名: 説明:	mer/ユーニノク用	

図 3-53 プロパティの指定

8. [コンピュータ名の設定]画面で、以下の設定をします。

1. [仮想マシン名を使用]を選択します。

- 2. 仮想マシンで使用するドメイン名を入力します。
- 3. [次へ]をクリックします。

🔒 新しい仮想マシン ゲスト カスタマイ	/ズ仕様	(?) ₩
 新しい仮想マシングストカスタマイ 1 ブロパティの指定 2 コンビュータ名の設定 3 タイム ゾーン 4 ネットワークの構成 5 DNS とドメイン設定の入力 6 総7準備の完了 	ス化基 コンピュータ名 ネットワーク上でこの仮想マシンを識別するためのコンピュータ名を入力してください。 名前を入力してください: 名前は 63 文字以下で指定します。 数値を行加して一意の値にする 数値を行加して一意の値にする 数値を行加して一意の値にする 数値を行加して一意の値にする 数値を行加して一意の値にする タローンパデプロイ ウィザードに名前を入力 クローンパデプロイ ウィザードに名前を入力 ッCenter Server で構成されるカスタム アプリケーションを使用して名前を生成 考瞭: ドメイン名: aaa	•••
	夏 る 次へ 純了 牛 ャ	ンセル

図 3-54 コンピュータ名の設定

9. [タイムゾーン]画面で、以下の設定をします。

- 1. 使用するタイムゾーンのエリアと場所を選択します。
- 2. [ハードウェア時計設定]で[ローカル時間]を選択します。
- 3. [次へ]をクリックします。

🕞 新しい仮想マシン ゲスト カスタマイ	3 新しい仮想マシンゲストカスタマイズ仕様 ? り		
 ✓ 1 プロパティの指定 ✓ 2 コンピュータ名の設定 	タイム ゾーン この仮想マシンのタイム ゾーンを選択します。		
 ✓ 3 ダイムゾーン 4 ネットワークの構成 5 DNSとドメイン設定の入力 6 終了準備の完了 	マジマ マガダン マスカット マニラ ヤクーック ラングーン リヤド 87 リヤド 87 リヤド 88 リヤド 89 上海 台北 吉吉		
	ハードウェア時計設定:	重慶 香港 ローカル時間 戻る 次へ 終7 年v.	

図 3-55 タイムゾーン

10. [ネットワークの構成] 画面で、 [カスタム設定を手動で選択] と設定する NIC を選択し、 [次へ] をクリックします。

🔁 新しい仮想マシン ゲスト カスタマイズ仕様			(?) ₩
 ✓ 1 ブロバティの指定 ✓ 2 コンピュータ名の設定 	ネットワークの構成 デフォルトのネットワーク設定を使用するか、ネットワーク	インターフェイスごとにプロバティをカスタマイズします。	
✓ 3タイムゾーン	グスト OS に標準ネットワーク設定を使用します (すべてのネ	ットワーク インターフェイスで DHCP を有効化など)	
✔ 4 ネットワークの構成	 カスタム設定を手動で選択 		
5 DNS とドメイン設定の入力	🔶 🥒 🗙 🛛 🎯 アクション 🖛 🛅 🔹	Q 7-11/23	•
0 除1 年1月の元1	氯化明	IP アドレス	
	NIC1	DHCP の使用	
		夏る 次へ 終了 キ	ャンセル

図 3-56 ネットワークの構成

11. [*<NIC 名>* - ネットワークの編集]画面で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力し、 [OK]をクリックします。

MIC1 - ネットワークの編集		
全般 全般的な IP アドレスおよび DM	ISサーバ情報を指定します	·
○ DHCP を使用して IP アドレス	を自動的に取得	
○ 仕様を使用する場合、アドレス	しの入力プロンプトを表示	
🔘 vCenter Server で構成された	アプリケーションを使用して IP アドレスを生成	
弓 倭女:		
 次の IP 設定を使用: 		
IPアドレス:		
サブネット マスク:		
デフォルト ゲートウェ イ:		
代替ゲートウェイ:	· · ·	
		•
		OK キャンセル
		戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-57 ネットワークの編集

- 12. [ネットワークの構成]画面に戻ったら、[次へ]をクリックします。
- 13. [DNS とドメイン設定の入力]画面で、以下の設定をします。
 - 1. [プライマリ DNS]、[セカンダリ DNS]、[ターシャリ DNS]に、DNS サーバの IP アドレスを入力 します。
 - 2. [DNS Search Path]に DNS 検索で使用するドメイン名を入力し、[追加]をクリックします。 下の欄に、設定したドメイン名が表示されます。
 - 3. [次へ]をクリックします。

🕞 新しい仮想マシン ゲスト カスタマイ	(ズ仕様	€ €
 ✓ 1 ブロバティの指定 ✓ 2 コンビュータ名の設定 	DNSとドメイン設定の入力 この新規仮想マシンの DNSおよびドメイン情報を入力します。	
 ✓ 3 タイム ゾーン ✓ 4 ネットワークの構成 ✓ 5 DNSとドメイン設定の入力 ✓ 6 級了準備の完了 	ブライマリ DNS セカンダリ DNS ダーシャリ DNS	
	DNS Search Path	<u>追加</u> 肖印奈 上へ移動 下へ移動
	展る 次へ 終了	キャンセル

図 3-58 DNS およびドメイン名設定

14. [終了準備の完了]画面で、[終了]をクリックします。

[既存の仮想マシンのクローン作成] ウィザード画面に戻ります。

🔒 新しい仮想マシン ゲスト カスタマイ	「ズ仕様		(?) •
 新しい仮想マシンゲストカスタマイ 1 ブロバティの指定 2 コンピュータ名の設定 3 タイム ゾーン 4 ネットワークの構成 5 DNSとドメイン設定の入力 6 終了準備の完了 	(ズ仕様 終了準備の売了 違択した設定を確認してからウィ 名前: 08タイブ: コンピュータ名: ドメイン: タイム・ゾーン: ハードウェアクロック: さして、シャング・	ザードを終了してください。 thelクローニング用 Linux 仮想マシン名の使用 aaa Asia/Tokyo ローカル時間に設定	•••
	ネットワークタイブ: NIC1 ブライマリ DNS サーバ: DNS 検索バス:	カスタム 	
			戻る 次へ 終了 キャンセル

図 3-59 終了準備の完了 (ゲストのカスタマイズ)

15. [ゲスト OS のカスタマイズ]画面で、作成した仕様を選択し、[次へ]をクリックします。

Prhelo1 - 既存の仮想マシンのクロー	ン作成	1 1 2			(4 (?
1 設定の編集	オペレーティング システム: Red Ha	at Enterprise Linux 6 (64 ビット)			
✓ 1a 名前とフォルダの選択	🕒 🕞 🕞 -		(Q フィルタ	•
✓ 1b計算リソースの選択	名前	ゲスト OS	最終更新日時		
 ✓ 1C ストレージの選択 ✓ 1, クローン オブションを選択 	rhelクローニング用	Linux	2013/01/28 17:30:48		
10 してください 10 ゲスト OSのカスタマイズ 2 彼了進使の完プ					
∠ 終了準備の元了					
					•
			戻る)次へ	終了	キャンセル

図 3-60 ゲスト OS のカスタマイズ

16. [終了準備の完了]画面で、[終了]をクリックします。

仮想マシンのクローンが作成されます。

			? }
1 設定の編集	プロビジョニング タイブ:	既存の仮想マシンのクローン作成	
✓ 1a 名前とフォルダの選択	ソース仮想マシン:	rhel01	
✓ 1b 計算リソースの選択	仮想マシン名:	rhel02	
✓ 1c ストレージの選択	フォルダ:	Datacenter	
✓ 1d クローン オブションを選択 してください	ホスト:	vmware01	
✓ 1e ゲスト OS のカスタマイズ	データストア:	Datastore	
✓ 2 終了準備の完了	ディスクストレージ:	ソースと同じフォーマット	
	ゲスト OS のカスタマイズ仕様:	rhelクローニング用	
		戻る 次へ 終了 キャンセ	zıl

図 3-61 終了準備の完了 (クローン作成)

17. 作成した仮想マシンのコンソールにログインし、正しく動作することを確認します。

必要に応じて仮想マシンの設定を変更してください。

改版履歴

版数	日付	変更箇所(注)	変更内容
01	2012-09-25		
02	2013-03-05	全体	VMware 5.1 対応

使用条件

著作権・商標権・その他の知的財産権について

コンテンツ(文書・画像・音声等)は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。 本コンテンツは、個人的に使用する範囲でプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、 これ以外の利用(ご自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロード等)については、当社 または権利者の許諾が必要となります。

保証の制限

本コンテンツについて、当社は、その正確性、商品性、ご利用目的への適合性等に関して保証する ものではなく、そのご利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねま す。本コンテンツは、予告なく変更・廃止されることがあります。

不明な点は、「本製品のお問い合わせ」(<u>http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/contact/</u>) よりお尋ねください。

> 無断転載を禁じます。 C122-A013-02

2013.03